

めぶきフィナンシャルグループ

平成29年度第3四半期 決算説明資料



このページは「空白」です。

目 次

業績ハイライト 3

1. 平成29年度第3四半期 決算概要等

平成29年度第3四半期 決算概要 4

コア業務粗利益 5

資金利益、コア業務粗利益の増減要因 6

預貸金の平残・利回り 7

貸出金 8-11

預金 12

預り資産 13

法人役務取引 14

有価証券運用 15-16

経費・OHR 17

信用コスト・開示債権 18

統合シナジー 19-20

グループ会社 21-22

2. 平成29年度業績見通し等

平成29年度業績見通し 23

自己資本比率・株主還元 24

3. 営業施策等

営業施策 | 法人 25-26

営業施策 | 個人 27

システム統合・経費削減 28

店舗ネットワーク・店舗効率化 29-30

ITを活用したお客様の利便性の向上 31

業務の効率化 32

4. その他

地域創生への取り組み 33

業績ハイライト

29年度第3四半期実績

めぶきFG連結純利益*は388億円(当初通期業績予想に対する進捗率 97.1%)* 親会社株主に帰属する四半期純利益

2行合算の純利益は426億円(当初通期業績予想に対する進捗率96.8%)

コア業務純益が計画を上回ったほか、政策保有株式等の売却益が計画を上回る。

経営統合シナジーは、29年度計画27億円に対し、31億円(進捗率115.2%)

29年度業績見通し

29年度業績見通しは、資金利益や有価証券関係損益が当初予想を上回る見込みとなったことや、経費が減少する見込みであること等から上方修正。

連結経常利益 625億円 (修正前 585億円、増減額+40億円)

連結純利益* 425億円 (修正前 400億円、増減額+25億円) * 親会社株主に帰属する当期純利益

常陽銀行 | 単体純利益255億円 (修正前230億円、増減額+25億円)

足利銀行 | 単体純利益215億円 (修正前210億円、増減額+ 5億円)

配当

29年度は、配当政策*を踏まえ、年間11円(中間5.5円、期末5.5円)を予定。

* めぶきFG配当政策 : グループとしての成長に向けた資本の確保と、株主さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、安定配当を目指す。

平成29年度第3四半期 決算概要

めぶきFG連結

(億円)

	29年度 第3四半期	進捗率	修正前 業績 予想 (通期)
経常利益	571	97.7%	585
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 ①	388	97.1%	400

【連結調整】 $\Delta 69$ 億円 = ② - ①
有価証券連単簿価差に伴う調整額($\Delta 58$ 億円)
劣後ローンの支払利息、経費等

2行合算 + 銀行業以外のグループ会社

	29年度 第3四半期	進捗率	修正前 業績 予想 (通期)
四半期(当期)純利益 ②	458	95.5%	480

銀行業以外のグループ会社
純利益(合計) 32億円

(ご参考) 2行合算・常陽銀行・足利銀行の実績

(億円)

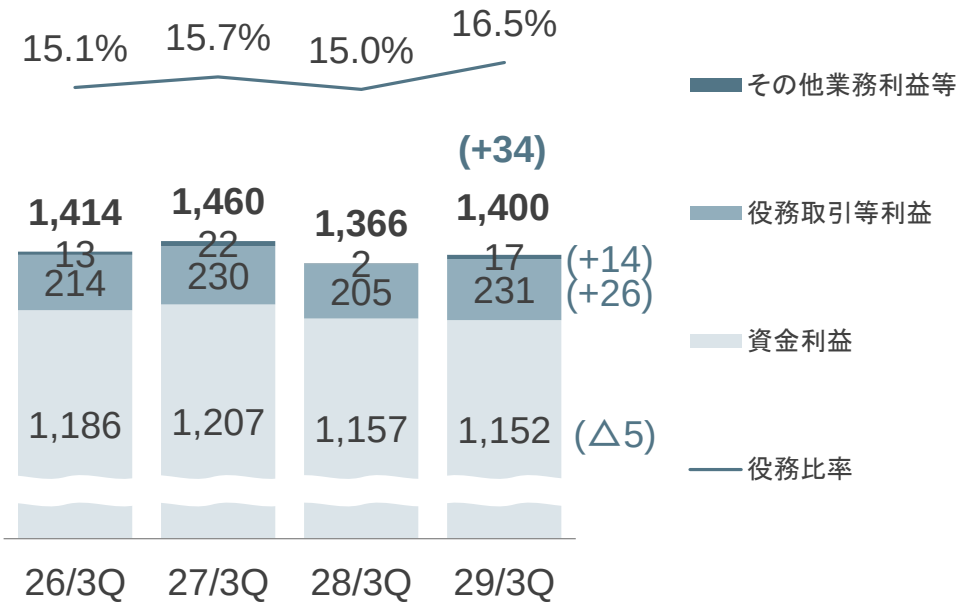
	29年度第3四半期						業績予想(修正前)に対する進捗率		
	2行合算		常陽銀行		足利銀行		2行 合算	常陽 銀行	足利 銀行
	実績	前年 同期比	実績	前年 同期比	実績	前年 同期比			
業務粗利益	1,408	$\Delta 52$	798	$\Delta 42$	609	$\Delta 9$	76.9%	77.1%	76.7%
資金利益	1,152	$\Delta 5$	651	+5	500	$\Delta 11$	78.6%	79.4%	77.5%
役務取引等利益	231	+26	130	+21	100	+4	73.5%	74.7%	71.9%
その他業務利益他	24	$\Delta 72$	15	$\Delta 69$	8	$\Delta 2$	49.3%	39.3%	89.3%
(うち国債等債券損益)	7	$\Delta 86$	6	$\Delta 82$	1	$\Delta 3$	25.4%	21.7%	-
経費	848	$\Delta 14$	499	$\Delta 17$	349	+2	72.5%	73.4%	71.3%
うち人件費	449	$\Delta 5$	253	$\Delta 9$	195	+4	-	-	-
うち物件費	342	$\Delta 6$	213	$\Delta 5$	129	$\Delta 0$	-	-	-
実質業務純益	559	$\Delta 37$	299	$\Delta 25$	260	$\Delta 12$	84.7%	84.2%	85.4%
コア業務純益	551	+49	292	+57	259	$\Delta 8$	87.6%	89.9%	85.0%
一般貸倒引当金繰入額(a)	$\Delta 18$	+6	$\Delta 7$	+2	$\Delta 11$	+4	-	-	-
業務純益	578	$\Delta 44$	306	$\Delta 27$	272	$\Delta 16$	86.9%	85.1%	89.1%
臨時損益	40	+50	35	+30	5	+20	-	-	-
うち不良債権処理額(b)	56	$\Delta 13$	36	+1	19	$\Delta 14$	-	-	-
うち株式等関係損益	115	+19	91	+14	24	+5	178.3%	227.5%	99.6%
経常利益	619	+5	342	+2	277	+3	96.7%	102.1%	90.8%
特別損益	$\Delta 11$	$\Delta 7$	$\Delta 7$	$\Delta 4$	$\Delta 3$	$\Delta 3$	167.5%	157.6%	192.3%
法人税等合計	181	+42	98	$\Delta 0$	82	+42	-	-	-
四半期(当期)純利益	426	$\Delta 43$	235	$\Delta 1$	190	$\Delta 42$	96.8%	102.5%	90.6%
信用コスト (a) + (b)	37	$\Delta 6$	28	+3	8	$\Delta 10$	62.0%	82.1%	34.0%

コア業務粗利益 国債等債券損益を除く業務粗利益

* カッコ内は前年同期比の増減

コア業務粗利益は、前年同期比+34億円。コンサルティング営業の強化により法人役務が増加。

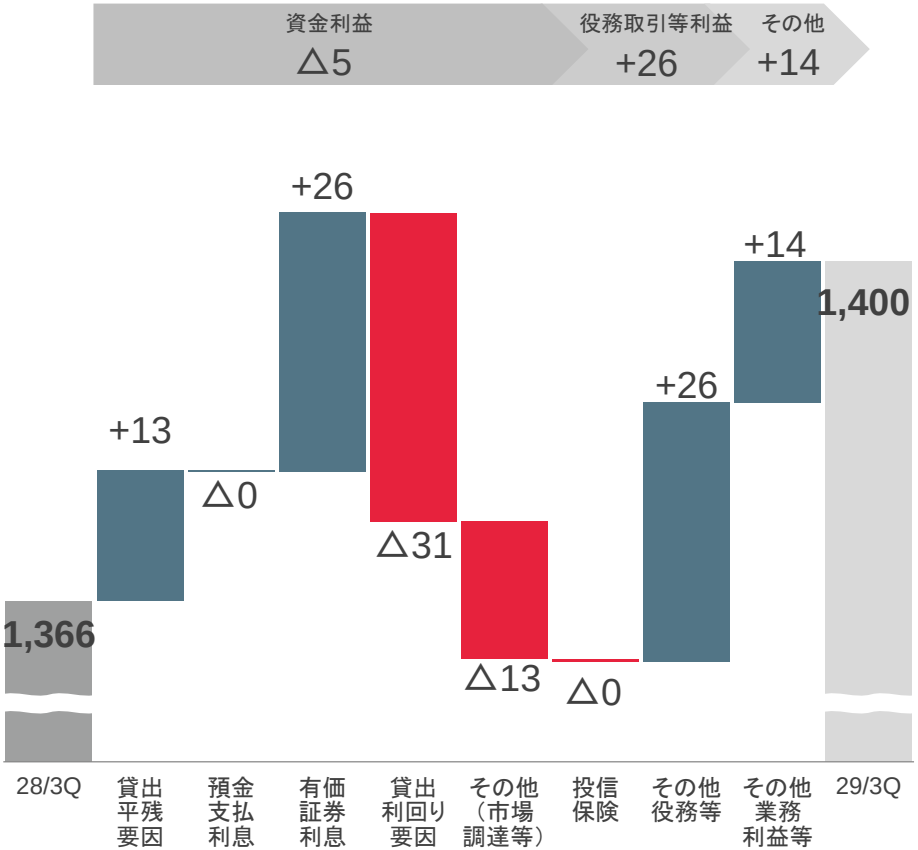
コア業務粗利益(2行合算) (億円)



(ご参考) 有価証券利息配当金に含まれる私募投信解約益 (億円)

		27年度	28年度	29年度 3Q	前年 同期比
常陽	年度	8	17	7	+2
	(うち下期)	(4)	(16)	(1)	(Δ1)
足利	年度	37	36	22	Δ13
	(うち下期)	-	(4)	(0)	(Δ4)

増減要因(2行合算) (億円)



資金利益、コア業務粗利益の増減要因 銀行別

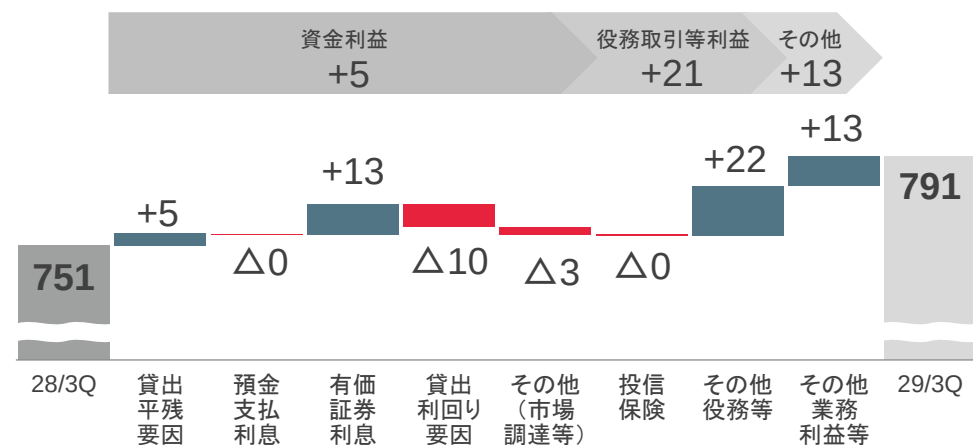
資金利益の増減要因(常陽銀行)

(億円)

	要因	前年 同期比	(国内)		(国際)	
			平残・利回り 変化		平残・利回り 変化	
貸出金利息	平残	+5	+3	(+399億円)	+2	(+196億円)
	利回り	△10	△15	(△3.4bp)	+4	(+54.3bp)
預金支払利息(△)		+0	△1	—	+2	—
有価証券 利息配当金	平残	+4	+1	(+189億円)	+2	(+177億円)
	利回り	+9	+3	(+1.9bp)	+6	(+19.4bp)
市場調達・運用等(△)		+3	△8	—	+11	—

コア業務粗利益の増減要因(常陽銀行)

(億円)



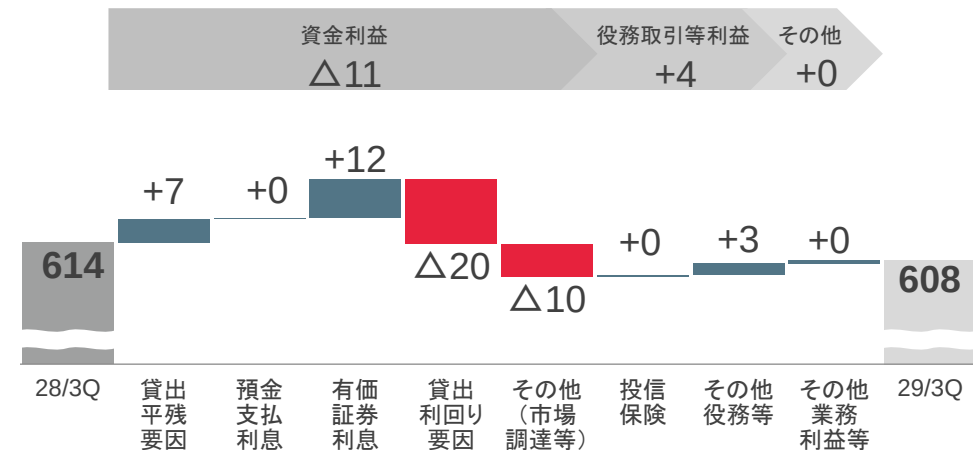
資金利益の増減要因(足利銀行)

(億円)

	要因	前年 同期比	(国内)		(国際)	
			平残・利回り 変化		平残・利回り 変化	
貸出金利息	平残	+7	+6	(+759億円)	+1	(+84億円)
	利回り	△20	△21	(△6.8bp)	+0	(+77.8bp)
預金支払利息(△)		△0	△2	—	+2	—
有価証券 利息配当金	平残	+14	+5	(+515億円)	+8	(+487億円)
	利回り	△1	△8	(△9.8bp)	+6	(+45.0bp)
市場調達・運用等(△)		+10	△0	—	+11	—

コア業務粗利益の増減要因(足利銀行)

(億円)

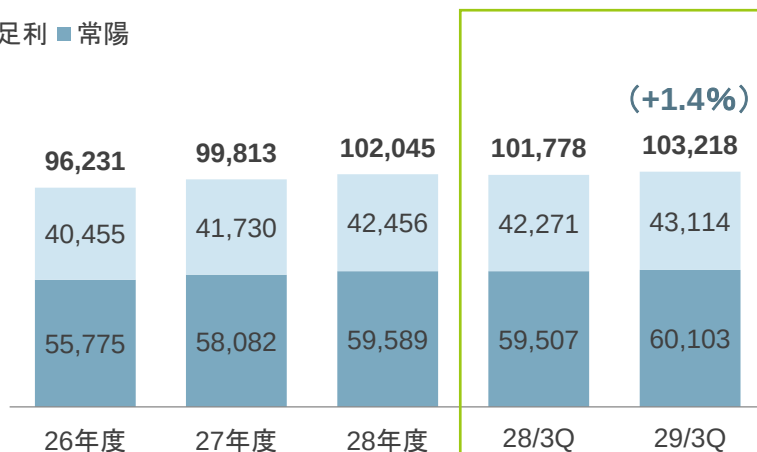


預貸金の平残・利回り 国内+国際

貸出金平残(2行合算)

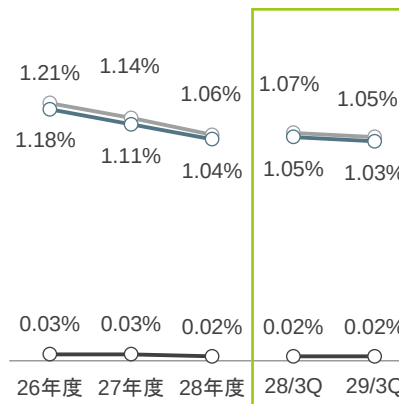
(億円)

■ 足利 ■ 常陽

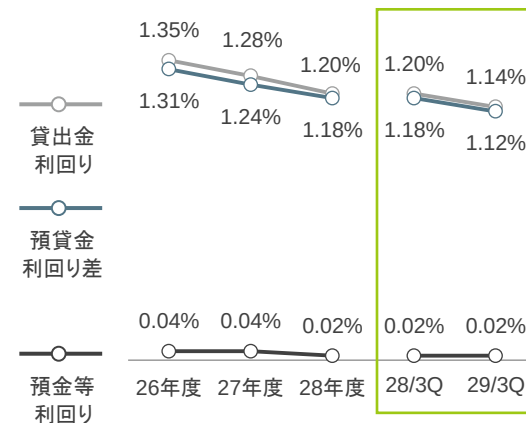


利回り

常陽銀行 (国内+国際)



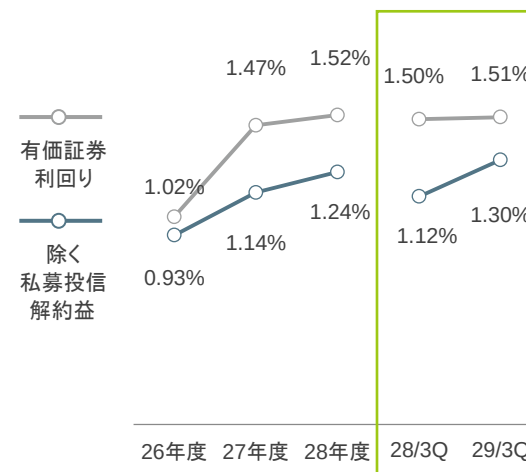
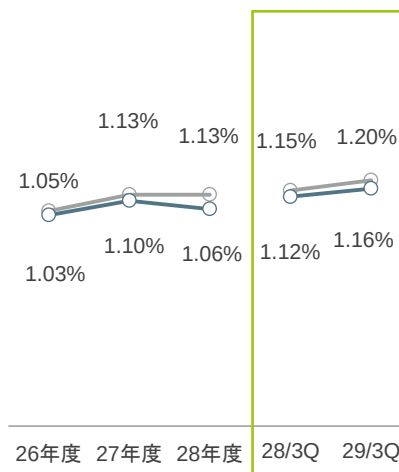
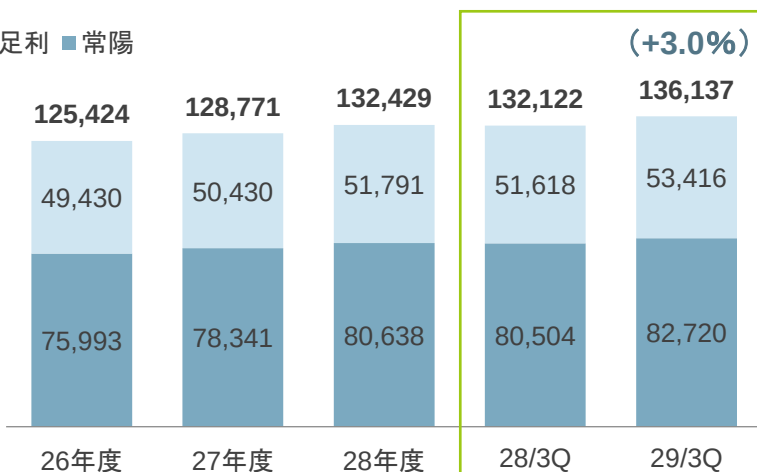
足利銀行 (国内+国際)



預金平残(2行合算)

(億円)

■ 足利 ■ 常陽



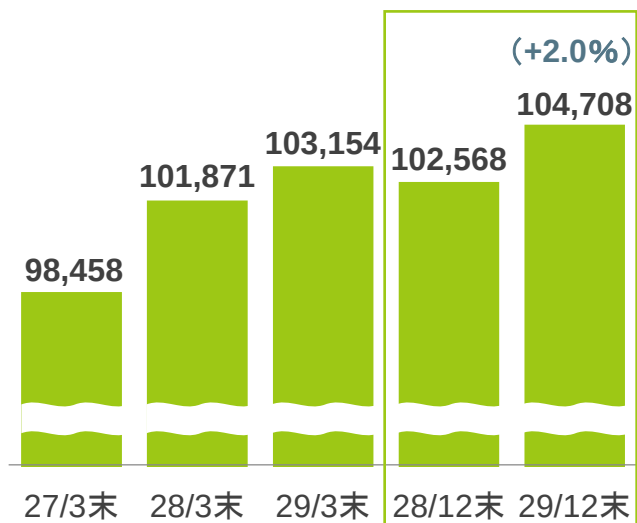
貸出金(1) 末残

* カッコ内は前年同期末比の増減率

個人貸出金は、前年同期末比+2,343億円(年率+5.5%)。住宅関連ローンは同+2,280億円(年率+5.8%)。
法人貸出金は、前年同期末比+792億円(年率+1.6%)。地元向け法人貸出金は同+1,133億円(年率+3.7%)。

2行合算

(億円)

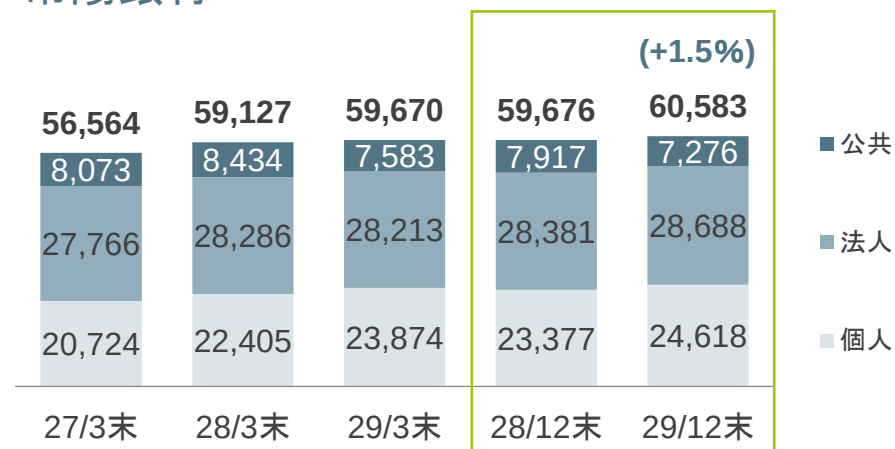


個人	37,462	40,256	42,728	41,933	44,276	(+5.5%)
法人	47,722	48,131	48,096	48,468	49,260	(+1.6%)
公共	13,273	13,483	12,329	12,166	11,171	(△8.1%)

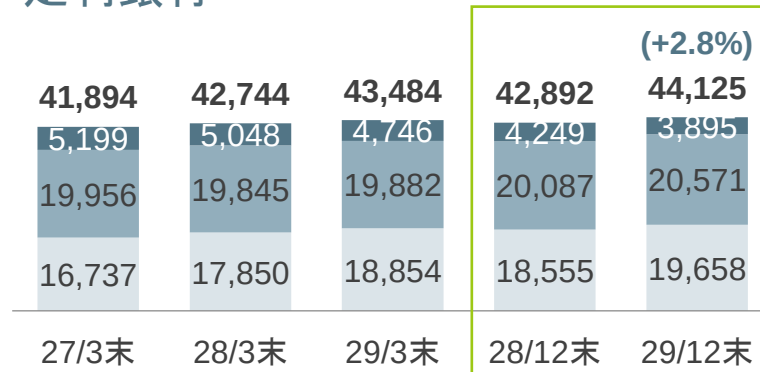
* 個人事業主は「個人」に含む。金融は「法人」に含む。

外貨貸出金	27/3末	28/3末	29/3末	28/12末	29/12末
常陽銀行	863	988	1,160	1,129	1,112
足利銀行	55	57	122	86	151
合計	919	1,045	1,283	1,216	1,264

常陽銀行



足利銀行



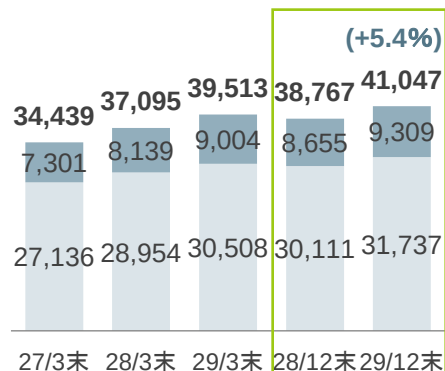
貸出金(2) 個人向け 住宅関連／無担保

* カッコ内は前年同期末比の増減率

住宅関連ローン末残

(億円)

2行合算



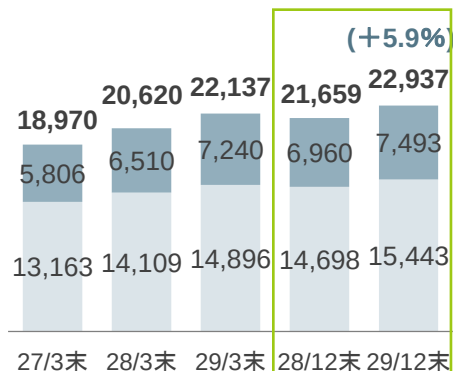
常陽銀行

■ アパートローン

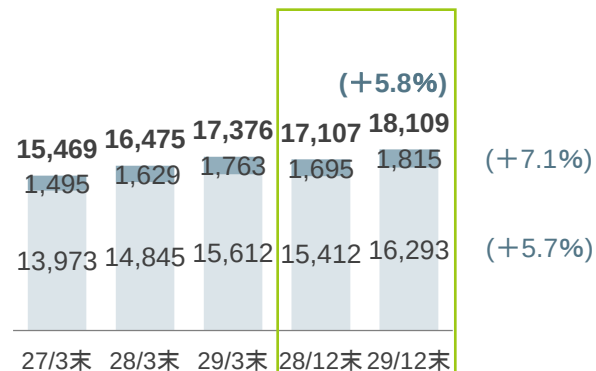
■ 住宅ローン

(+7.5%)

(+5.8%)



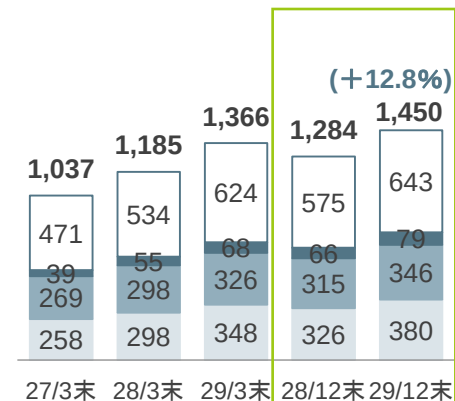
足利銀行



無担保ローン末残

(億円)

2行合算



常陽銀行

□ カードローン

■ フリーローン

■ 教育ローン

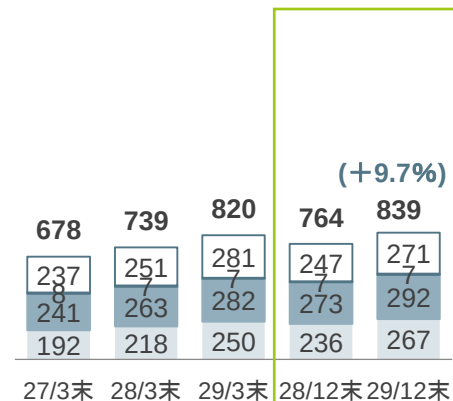
■ マイカーローン

(+11.7%)

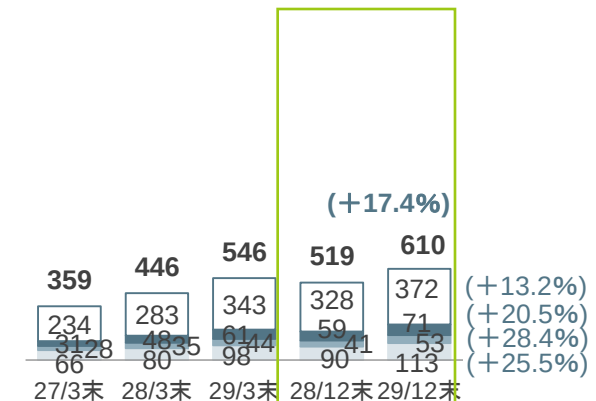
(+19.2%)

(+9.8%)

(+16.5%)



足利銀行



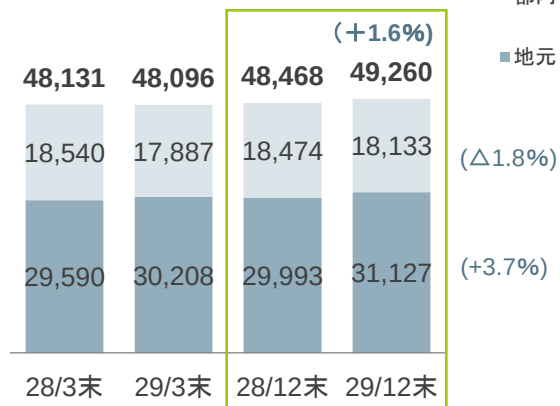
貸出金(3) 法人向け 地域別／企業規模別

* カッコ内は前年同期末比の増減率

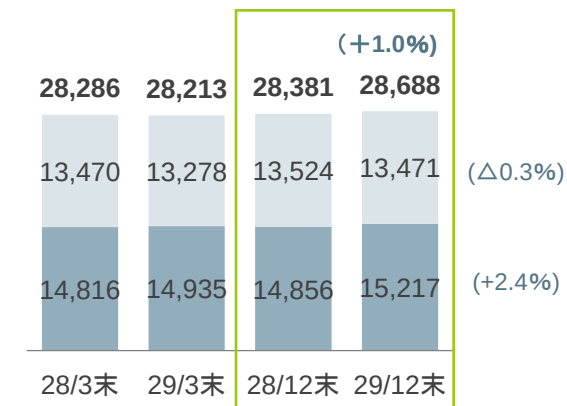
地域別末残

(億円)

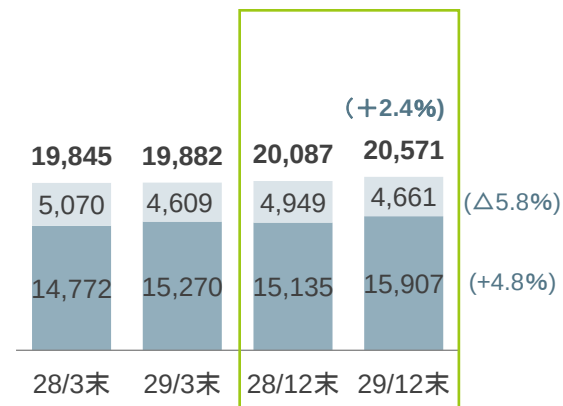
2行合算



常陽銀行



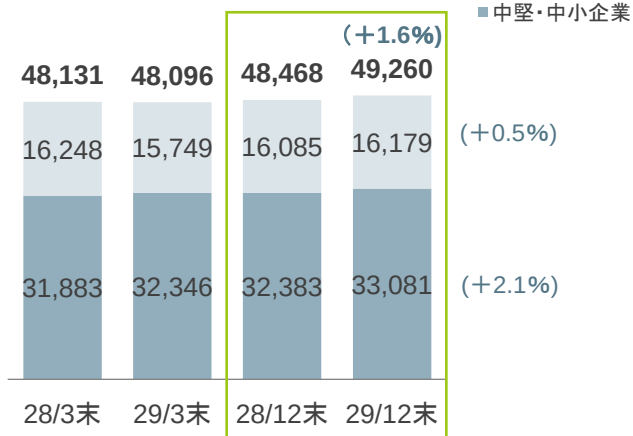
足利銀行



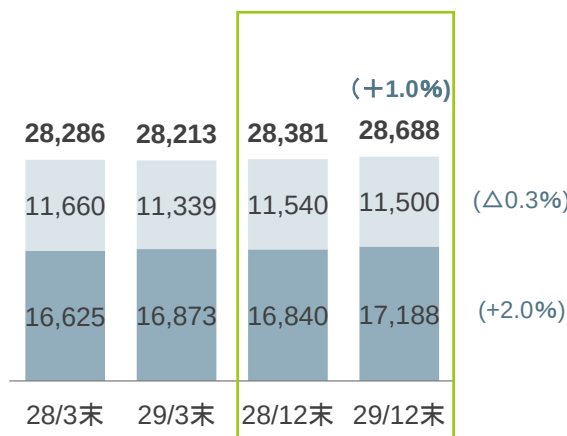
企業規模別末残

(億円)

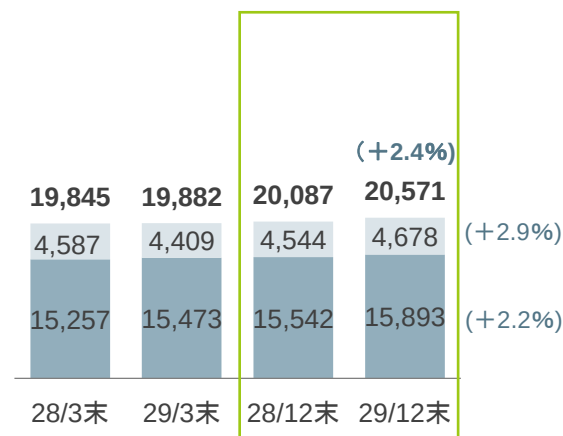
2行合算



常陽銀行



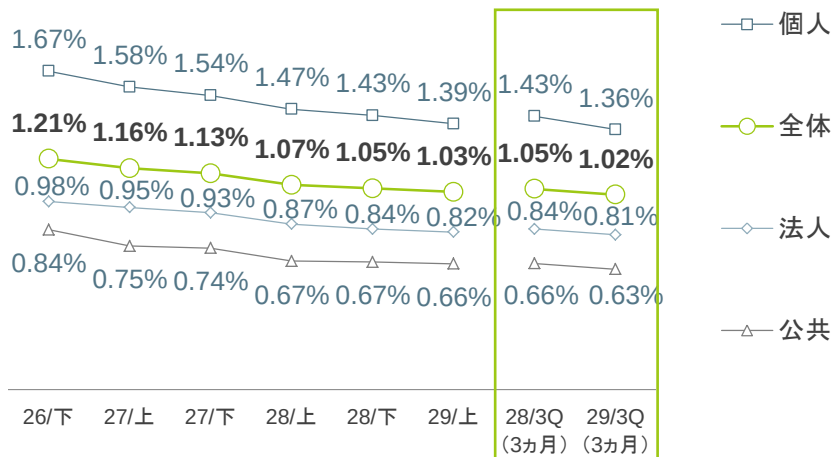
足利銀行



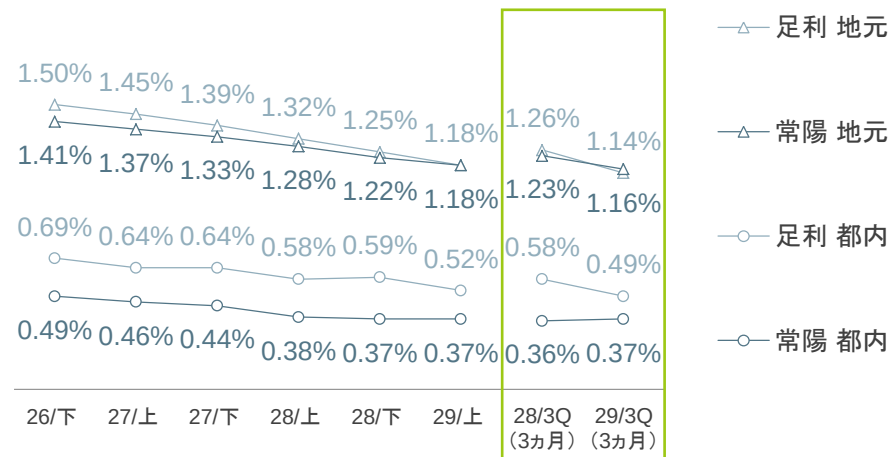
貸出金(4) 利回り

* 人格別利回りは管理ベース

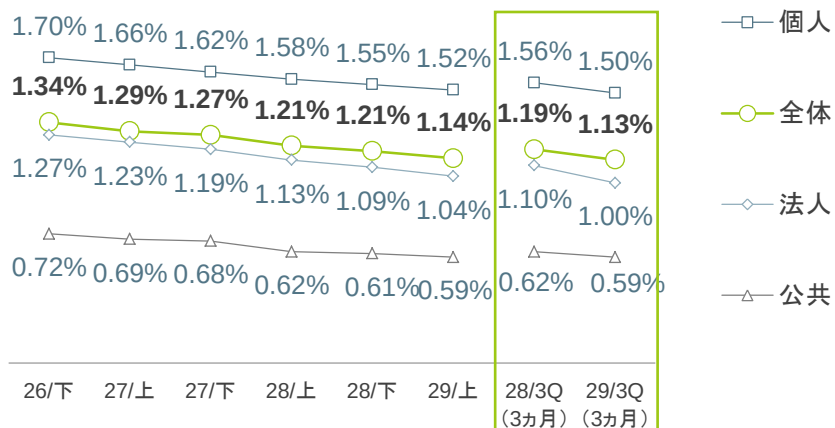
人格別(国内) 常陽銀行



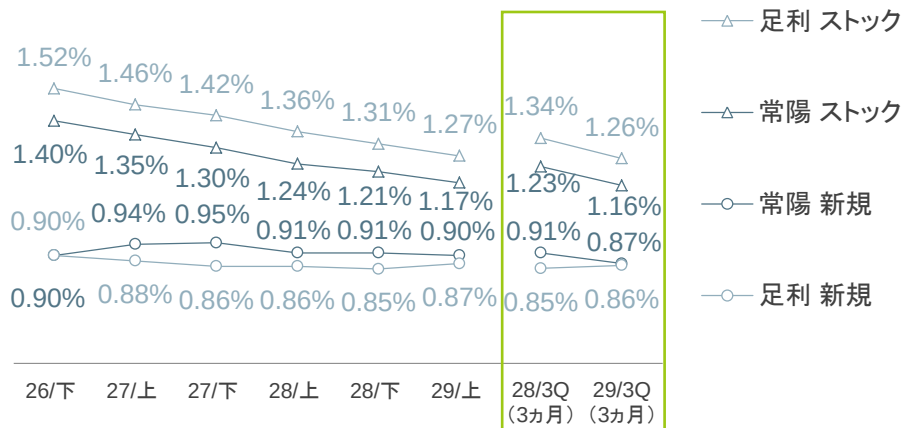
法人貸出金(地域別)



人格別(国内) 足利銀行



住宅ローン



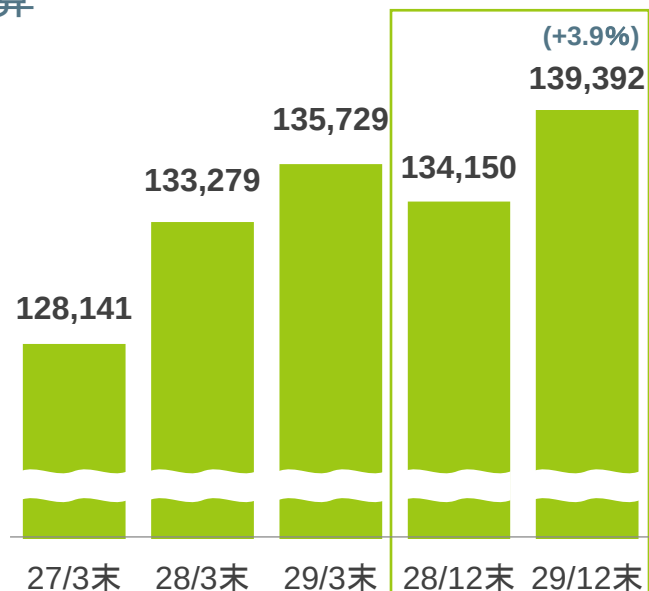
預金 末残

* カッコ内は前年同期末比の増減率

個人・法人預金ともに、増加基調を継続(個人:年率+3.6%、法人:年率+4.1%)

2行合算

(億円)

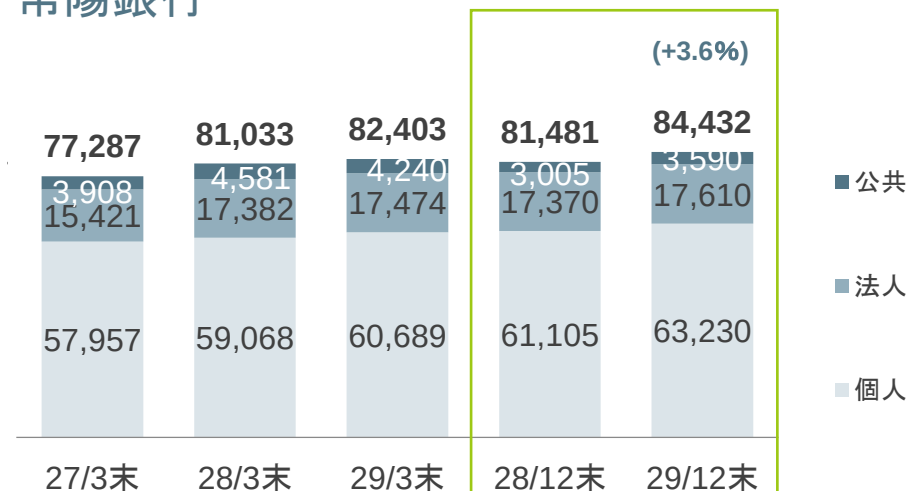


個人	93,442	95,026	97,621	98,290	101,874 (+3.6%)
法人	27,419	30,208	30,628	30,516	31,776 (+4.1%)
公共	7,278	8,044	7,480	5,344	5,742 (+7.4%)

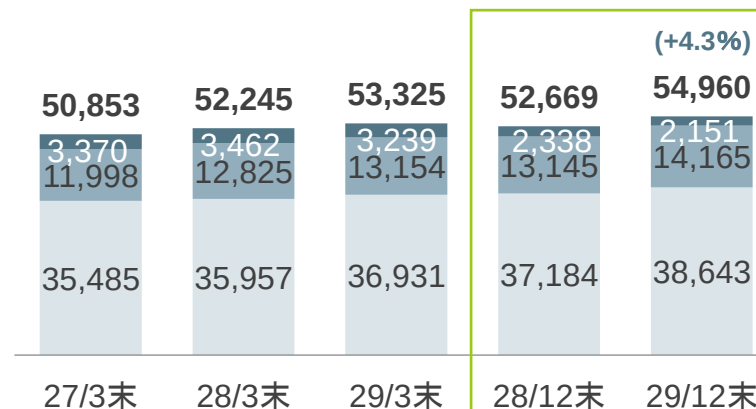
* 1 金融は「法人」に含む。 * 2 外貨預金には、為替予約付外貨預金、オフショア預金等を含む。

外貨預金	27/3末	28/3末	29/3末	28/12末	29/12末
常陽銀行	546	1,114	1,407	1,802	2,095
足利銀行	164	163	248	182	625
合計	711	1,277	1,656	1,985	2,721

常陽銀行



足利銀行



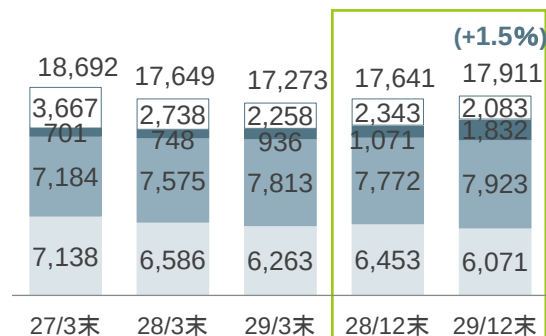
預り資産

* カッコ内は前年同期末比の増減率

預り資産の残高は外貨預金の増加を主因に前年同期末比+1.5%。
手数料は投信販売を中心に前年を上回り、同+2.6%。

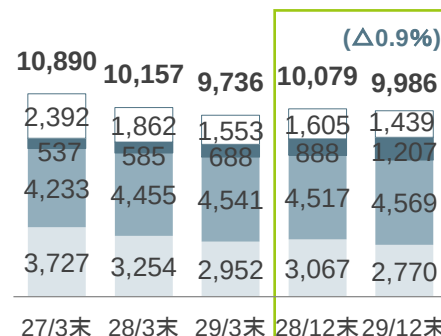
預り資産残高

2行合算

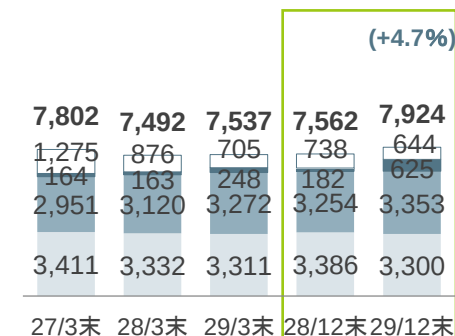


(億円)

常陽銀行

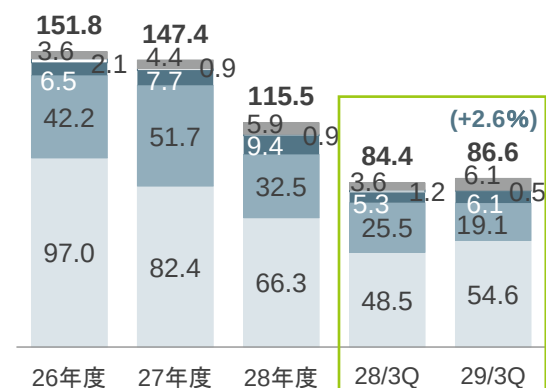


足利銀行



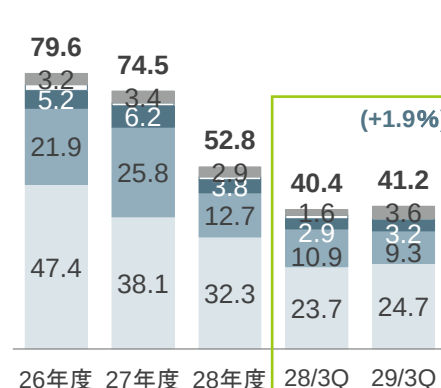
手数料

2行合算

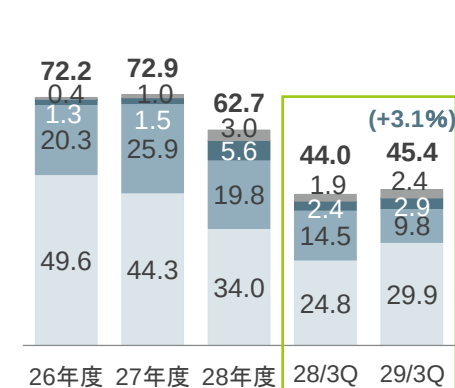


(億円)

常陽銀行



足利銀行

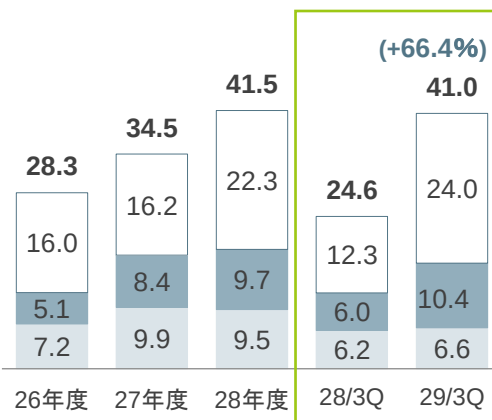


法人役務取引

コンサルティング営業の展開強化により、与信関連、事業支援関連ともに法人役務取引手数料が増加。

与信関連手数料

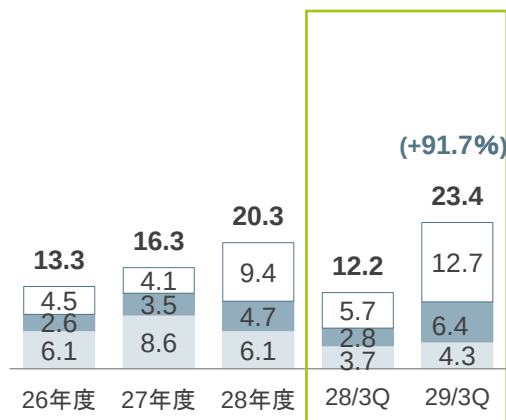
2行合算



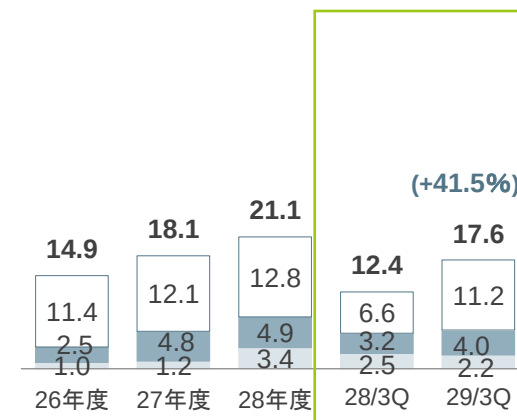
(億円)

常陽銀行

- シ・ローン等
- 私募債
- デリバティブ

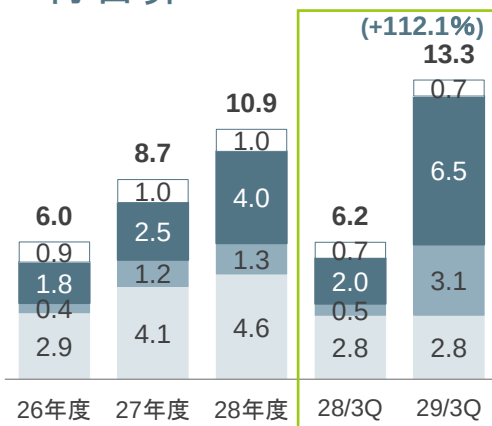


足利銀行



事業支援関連手数料

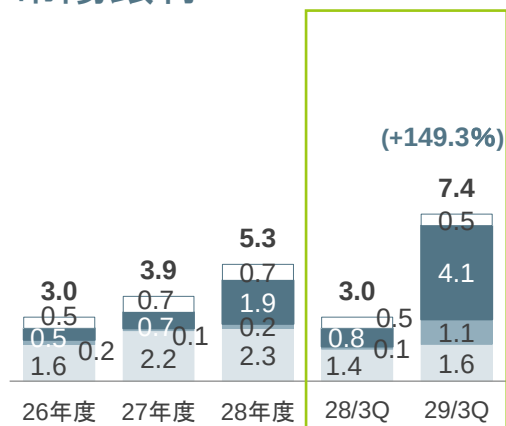
2行合算



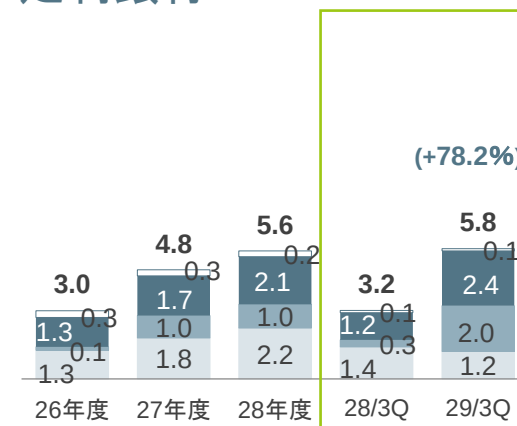
(億円)

常陽銀行

- 信託・401K
- 経営者保険
- M&A
- ビジネスマッチング

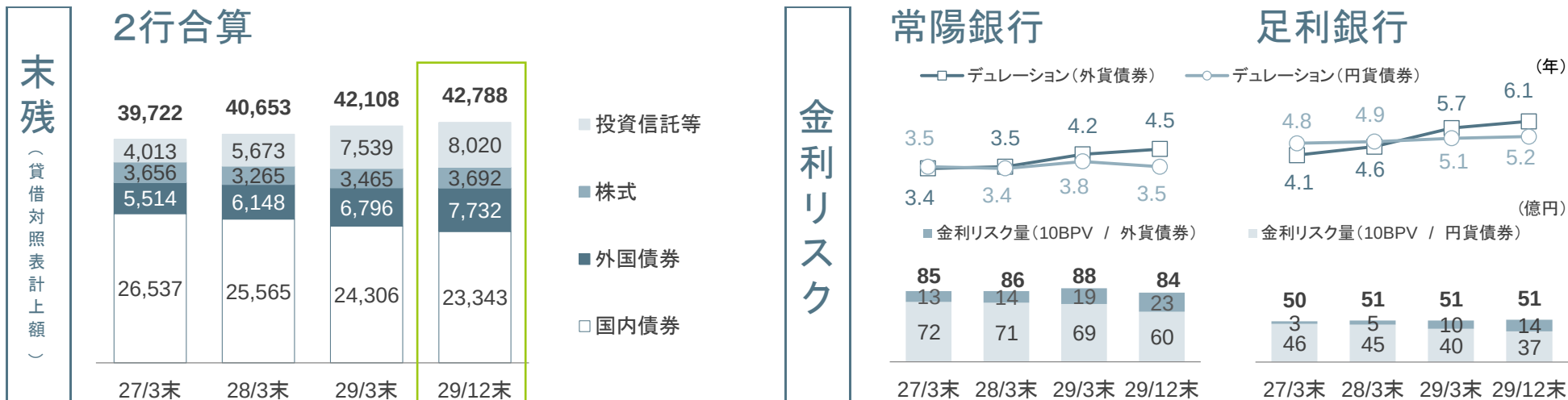


足利銀行



有価証券運用(1)

現状の円金利水準等を踏まえ、国債償還分の再投資を抑制(国内債券残高 29年3月末比△962億円)。
リスク管理に留意し、投資信託や外国債券等へのポートフォリオ・リバランスを継続。

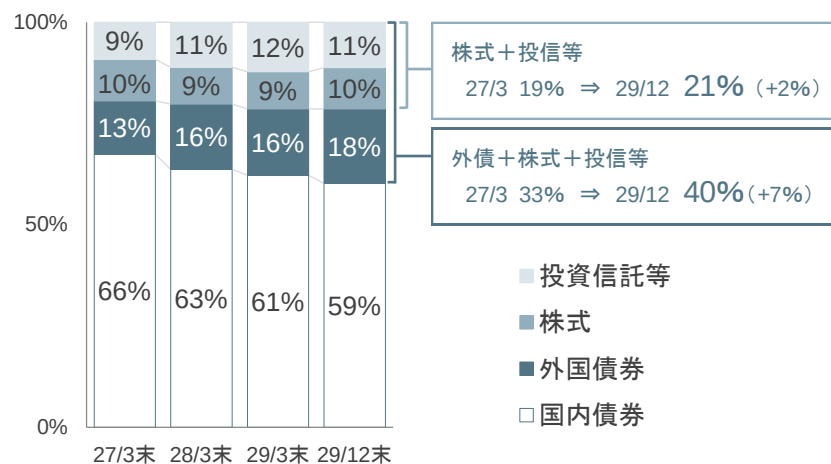


外債・投資信託等	(簿価ベース) 29年12月末現在	2行合算			概要
		2行合算	常陽銀行	足利銀行	
外債		7,749	5,247	2,502	-
	うち国債・政府保証債・地方債等	3,715	3,128	586	国債・政府保証債を中心
	うち事業債	3,200	1,284	1,915	格付けは9割以上が「A」以上
	うちジニーメイ	267	267	-	デュレーション対比高利回り商品
	その他	566	566	-	CLO(最上位トランシェのみ)等の変動債中心
ファンド		7,663	2,995	4,668	債券と株式のバランスに留意しつつ運用
	うち株式関連	2,278	1,435	842	ベアファンドを活用してリスクをコントロール
	うちREIT	588	429	159	利回り・流動性等をみながら分散投資
	その他	4,796	1,129	3,667	他資産との相関を考慮しポート全体のリスク対リターンを向上

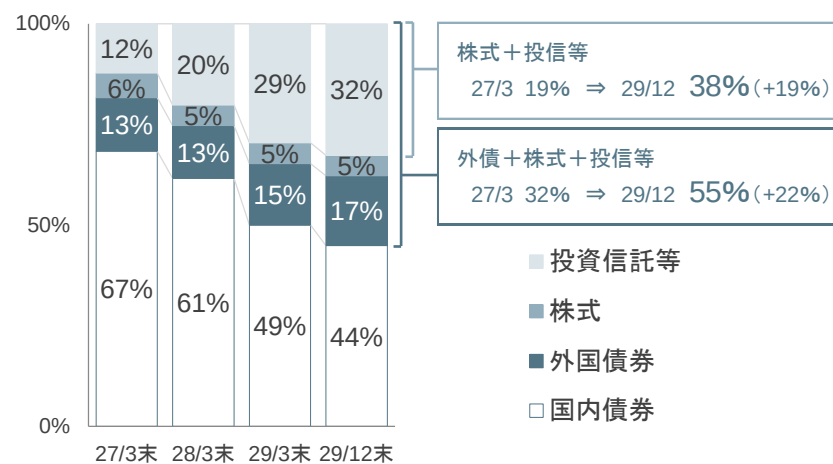
有価証券運用(2)

リバランスの状況

有証ポートフォリオ配分比率(常陽銀行)

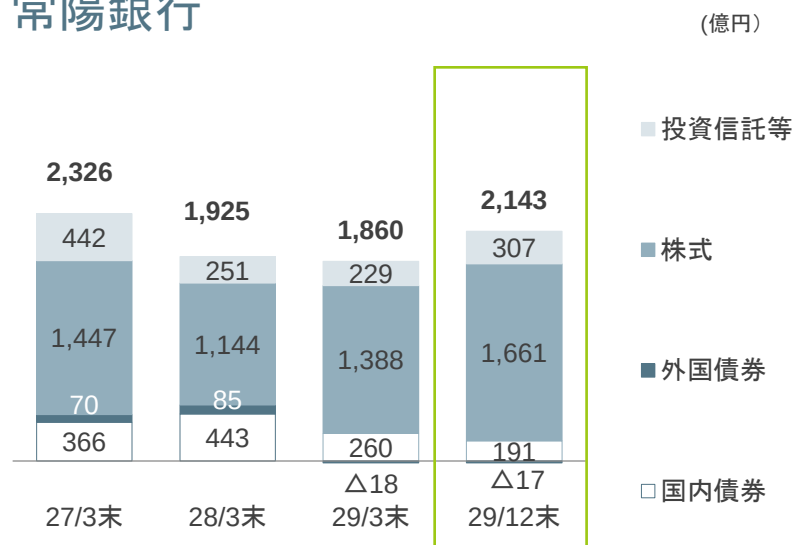


有証ポートフォリオの配分比率(足利銀行)

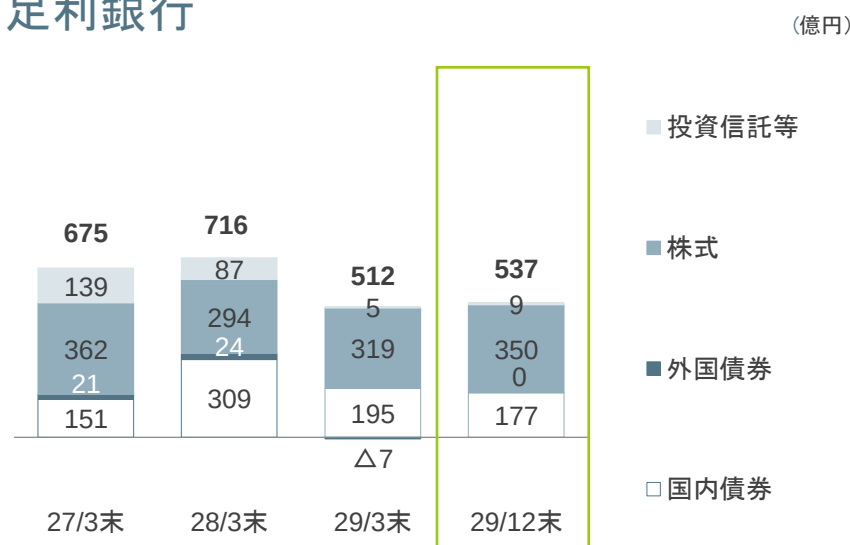


評価損益(その他の有価証券)

常陽銀行



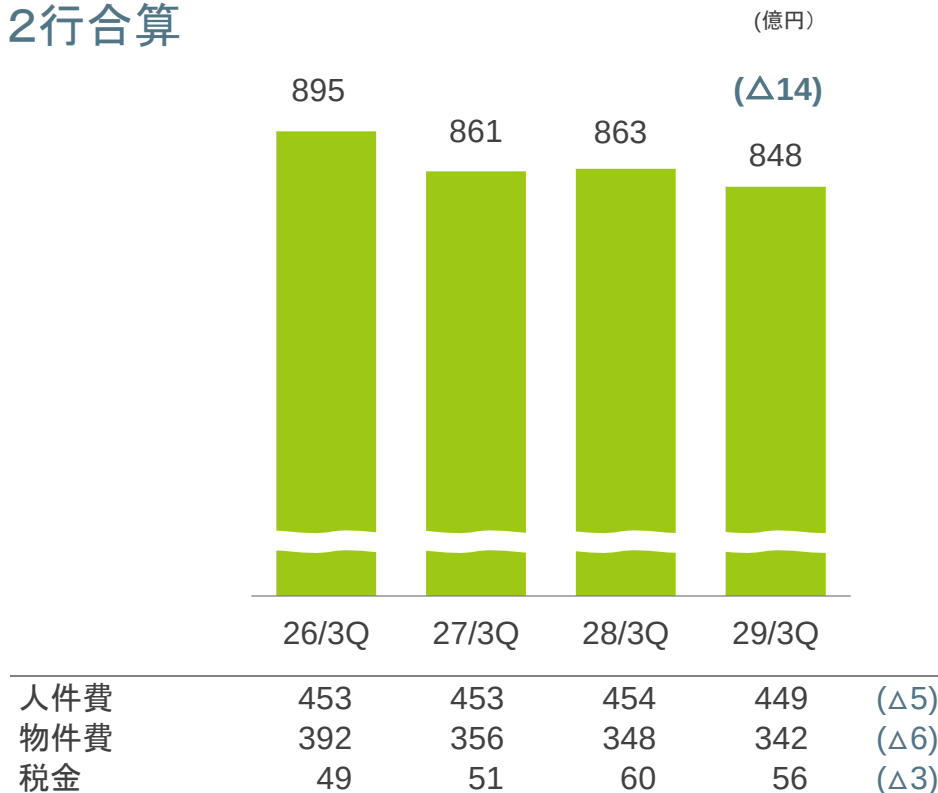
足利銀行



経費・OHR

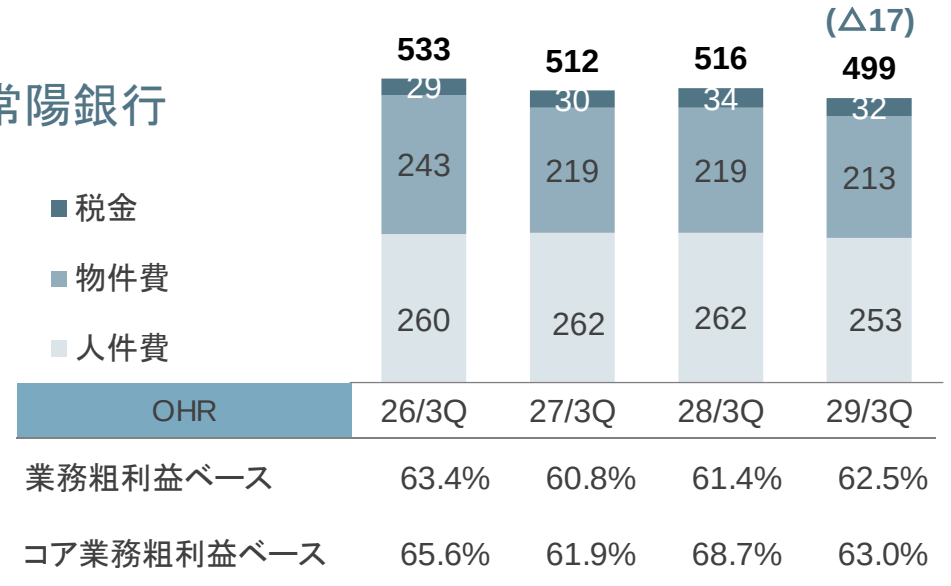
経費は、各種経費削減策の展開や、預金保険料の減少等を主因に、前年同期比△14億円（2行合算）。

2行合算

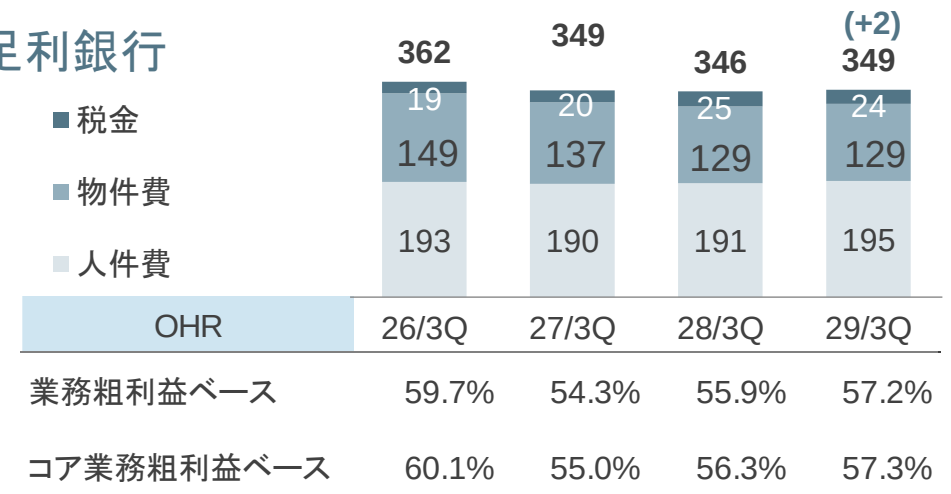


OHR				
業務粗利益ベース	61.9%	58.0%	59.1%	60.2%
コア業務粗利益ベース	63.3%	58.9%	63.1%	60.5%

常陽銀行



足利銀行



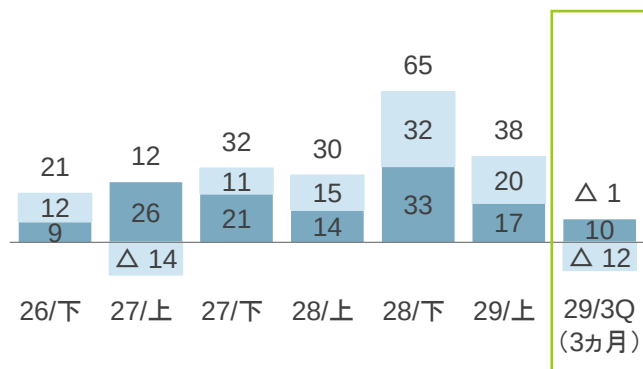
信用コスト・開示債権

29年度4-12月の信用コスト(2行合算)は、前年同期比△6億円の37億円。
引続き、企業倒産状況(茨城県・栃木県)は落ち着いた状態。

信用コスト

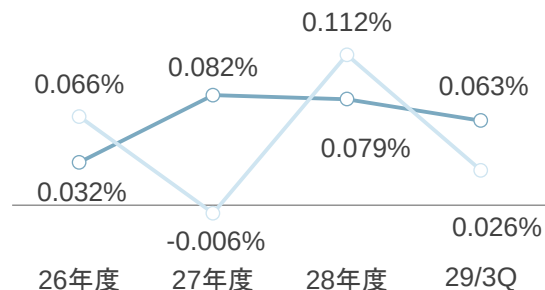
(億円)

■ 足利銀行 ■ 常陽銀行



(参考)信用コスト率

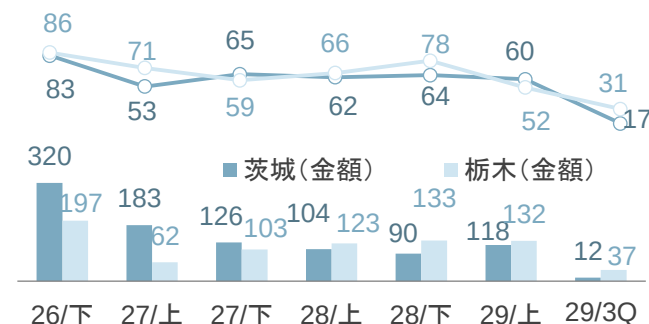
○ 常陽 ○ 足利



(参考)企業倒産状況

(件数/億円)

○ 茨城(件数) ○ 栃木(件数)

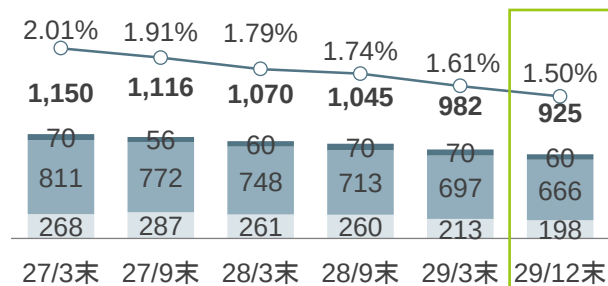


*負債総額1000万円以上の倒産状況

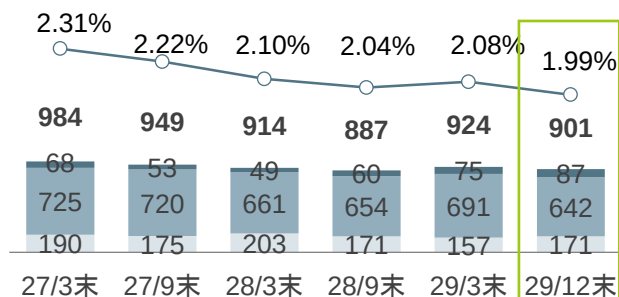
開示債権

(億円)

常陽銀行



足利銀行



■ 破産更生債権等

■ 危険債権

■ 要管理債権

○ 貸出金残高に占める比率

統合シナジー P/L上の効果

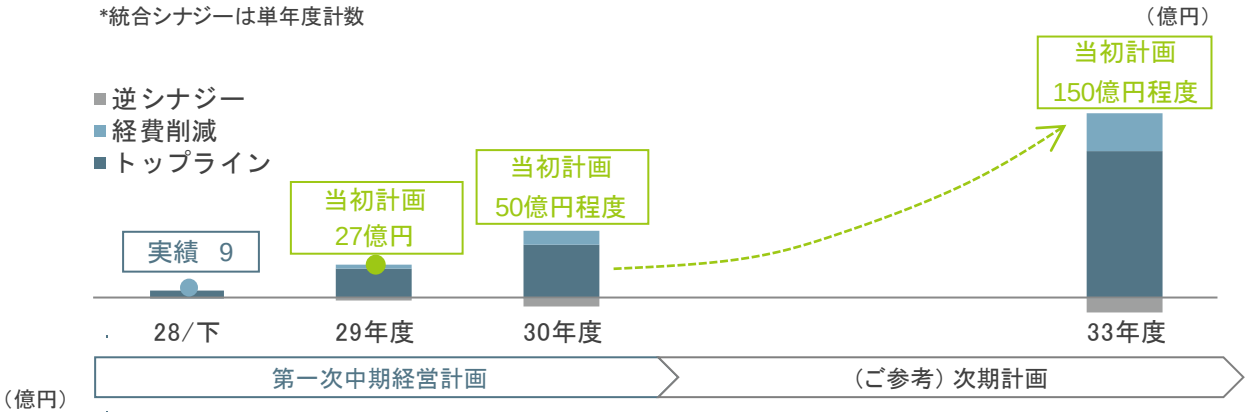
経営統合シナジーは、29年度計画27億円に対し、31億円（進捗率115%）と計画を上回って推移。
30年度以降の計画達成に向け、順調に進捗。

PL上の効果(税引前)

金額		
29通期	計画	+27億円
29/3Q	実績	+31億円(進捗率115%)

29年度(実績・通期計画)

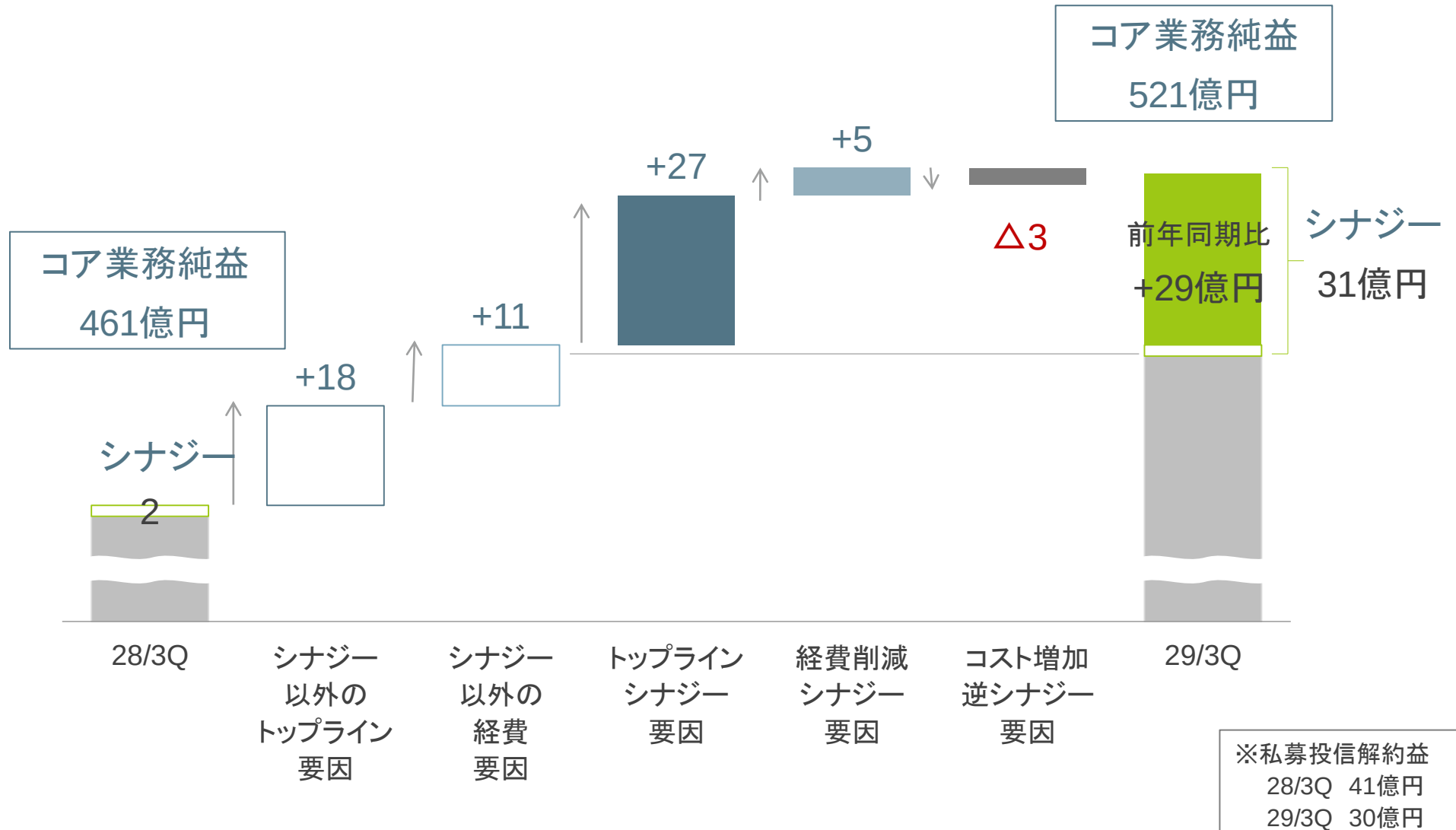
項目	通期計画	3Q実績	進捗	具体的な施策
貸出金・法人役務	10.3	9.5	92.7%	・広域ネットワークを活用した情報営業強化⇒協調融資、シンジケートローン、取引先紹介、成長分野(医療・福祉等) ・めぶきリース機能の相互活用 ・非対面営業ノウハウ共有(無担保ローン) ・ネット申込専用住宅ローン共同開発、女性向け住宅ローン共同展開
預り資産	8.5	6.5	76.0%	・預り資産推進ノウハウの共有 ・めぶき証券機能の相互活用
有価証券	7.0	4.9	71.3%	・各行の投資経験を活かした新領域への投資、新調達手法の取組み ・共同投資の取組み ・モニタリングやパフォーマンス評価の分析手法共有による運用・管理手法の高度化
その他(チャネル・市場国際等)	2.5	8.7	341.8%	・新規出店 ・重点地域の人員増強 ・クロスボーダーローンの取組強化 ・足利銀行における特約付外貨預金の商品導入 ・外貨預金キャンペーンの実施
経費削減	3.0	5.9	198.9%	・経費削減ノウハウ、費用対効果手法の共有 ・情報共有による価格交渉力の向上 ・店舗運営効率化のノウハウ共有 ・東京事務センターの統合 ・手形・小切手、キャッシュカードの共同発行
コスト増加・逆シナジー	△ 3.7	△ 3.8	-	・2行間における振込手数料の本支店化扱い ・基幹システム等の移行費用
シナジー合計	27.7	31.9	115.2%	



(ご参考) 統合シナジー コア業務純益への効果

私募投信解約益控除後□

(億円)



グループ会社

(百万円)

会社名			経常 収益	前年 同期比	経常 利益	前年 同期比	第3 四半期 純利益	前年 同期比	
FG	めぶきリース	リース業務、債権買取業務	18,680	+2,318	444	△291	360	△94	
	めぶき証券	有価証券の売買、媒介、取次、代理業務	2,793	+1,523	1,284	+966	885	+667	
常陽銀行	営業系	常陽コンピューターサービス	ソフトウェア等の開発販売業務、計算受託業務	961	△36	21	+19	13	+11
		常陽産業研究所	コンサルティング業務、調査研究の受託業務	420	△42	38	+16	25	+11
	業務受託系	常陽信用保証	住宅ローン信用保証業務	2,929	+126	1,352	+398	881	+260
		常陽クレジット	クレジットカードの取扱いに関する業務	917	+19	157	△3	107	△53
		常陽ビジネスサービス	事務受託代行業務	587	△5	3	+2	1	△0
		常陽キャッシュサービス	現金自動設備の保守・管理業務	787	△46	3	+2	1	+1
		常陽施設管理	営業用不動産の保守管理業務	727	+0	200	+5	121	△7
	常陽銀行グループ 小計		7,332	+15	1,777	+440	1,154	+223	
足利銀行	足利信用保証	住宅ローン信用保証業務	2,673	+131	1,174	+172	692	+82	
	あしぎん総合研究所	コンサルティング業務、調査研究の受託業務	417	+41	3	△5	2	△4	
	あしぎんカード	クレジットカードの取扱いに関する業務	1,145	△2,129	200	△2,218	129	△1,782	
	足利銀行グループ 小計		4,236	△1,956	1,378	△2,051	825	△1,704	
銀行業以外のグループ会社 合計			33,043	+1,901	4,883	△936	3,225	△907	

めぶきリース

栃木県内営業拠点の新設等により大幅増収となるものの、営業拠点新設など統合関連費用が先行していること、足利信用保証リース事業部の受入れに伴う人件費の増加などにより、経常利益は減少。

*めぶきリース・めぶき証券に関する詳細は次頁参照

グループ会社 めぶきリース・めぶき証券

めぶきリース

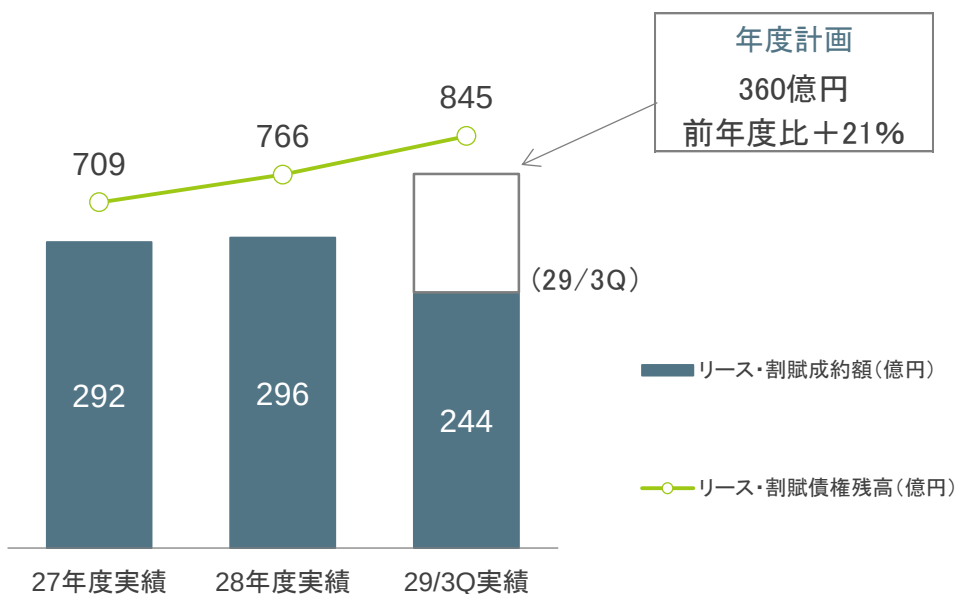
29年4月 常陽リースから「めぶきリース」に商号変更。
FGの100%出資子会社化。

グループ内のリース事業の再編（一本化）

栃木県内の営業体制強化（宇都宮・足利・小山の3営業部体制に）

リース・割賦成約額・債権残高

（億円）



めぶき証券

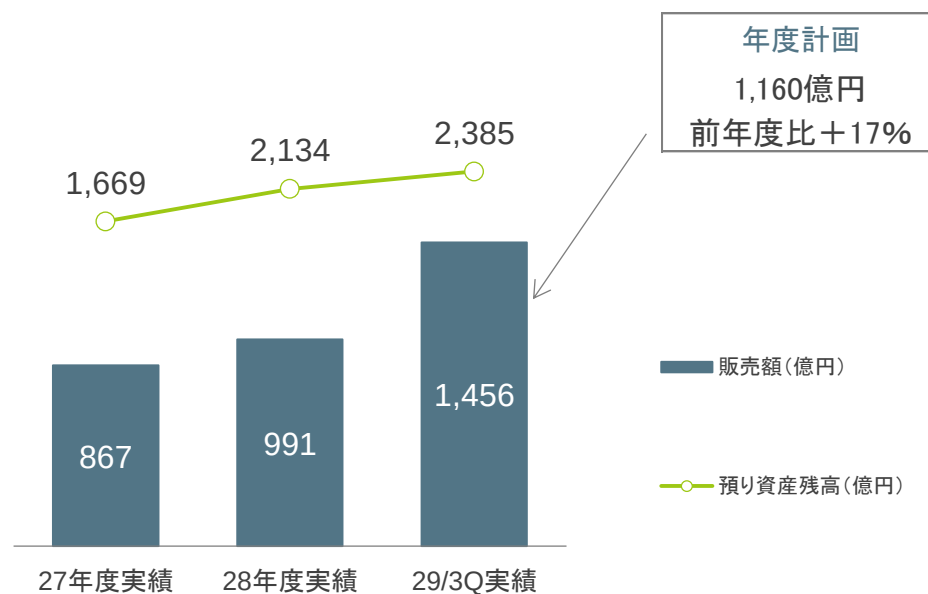
29年4月 常陽証券から「めぶき証券」に商号変更

足利銀行との金融商品仲介業務取扱店舗を、従来の13店舗から
128店舗に拡大

29年10月 FGの100%出資子会社化。宇都宮支店を開設

販売額・預り資産残高

（億円）



29年度業績見通し

29年度業績見通しは、資金利益や有価証券関係損益が当初予想を上回る見込みとなったことや、経費が減少する見込みであること等から上方修正。

連結経常利益 625億円(修正前 585億円比+40億円) 連結純利益 * 425億円(修正前 400億円比+25億円)

* 親会社株主に帰属する当期純利益

めぶきFG連結

	29年度第3四半期		業績予想(通期)		
		進捗率	修正後	修正前	増減
経常利益	571	91.5%	625	585	+40
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	388	91.4%	425	400	+25

29年度見通し

	修正後	修正前
ROE	4.8%程度	4.6%
OHR	63%程度	63.8%

2行合算+銀行業以外のグループ会社

(億円)

	29年度第3四半期		業績予想(通期)		
		進捗率	修正後	修正前	増減
四半期(当期)純利益	458	89.9%	510	480	+30

2行合算(単体)

	29年度第3四半期		業績予想(通期)		
		進捗率	修正後	修正前	増減
経常利益	619	90.4%	685	640	+45
四半期(当期)純利益	426	90.6%	470	440	+30

常陽銀行(単体)

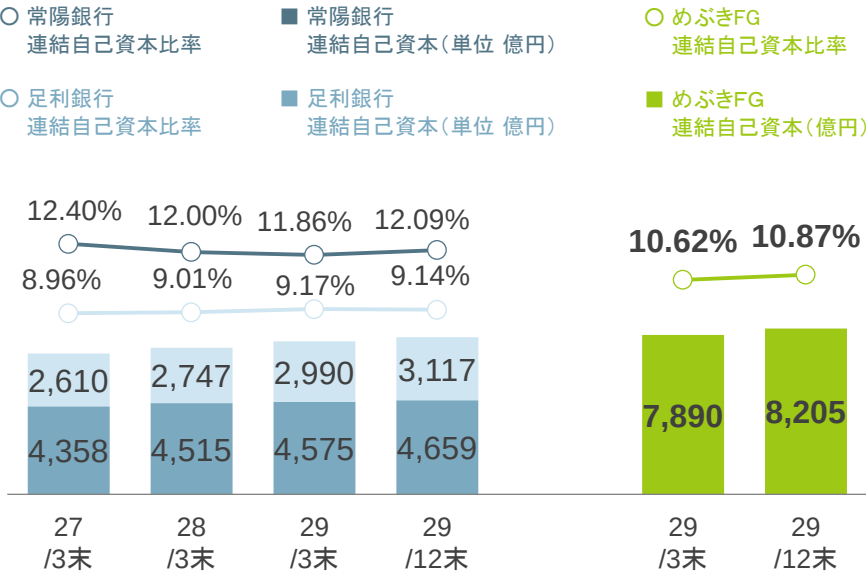
	29年度第3四半期		業績予想(通期)		
		進捗率	修正後	修正前	増減
	342	92.5%	370	335	+35
	235	92.4%	255	230	+25

足利銀行(単体)

	29年度第3四半期		業績予想(通期)		
		進捗率	修正後	修正前	増減
	277	87.9%	315	305	+10
	190	88.5%	215	210	+5

自己資本比率・株主還元

自己資本比率



※信用リスクアセットの算出方法
めぶきFG | 基礎的內部格付手法
常陽銀行 | 基礎的內部格付手法
足利銀行 | 標準的手法

＜ご参考＞連結自己資本比率(経過措置なしの場合)

	26/3月末	27/3月末	28/3月末	29/3月末	29/12月末
めぶきFG	-	-	-	9.49%	9.75%
常陽	11.35%	11.51%	11.17%	11.52%	11.77%
足利	8.67%	8.64%	8.77%	9.00%	8.97%

配当政策

グループとしての成長に向けた資本の確保と、株主さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、安定配当を目指す

29年度の配当は、配当政策を踏まえ年間11円を予定(配当性向 30.4%)

1株あたり配当の額

年間配当(予定)	29年度	
	中間配当	期末配当(予定)
11.0円	5.5円	5.5円

株主優待制度

対象	毎年3月末日時点で1,000株以上をお持ちの株主さま
内容	地元特産品等を記載の専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの特産品をお選びいただけます

株主優待制度の概要

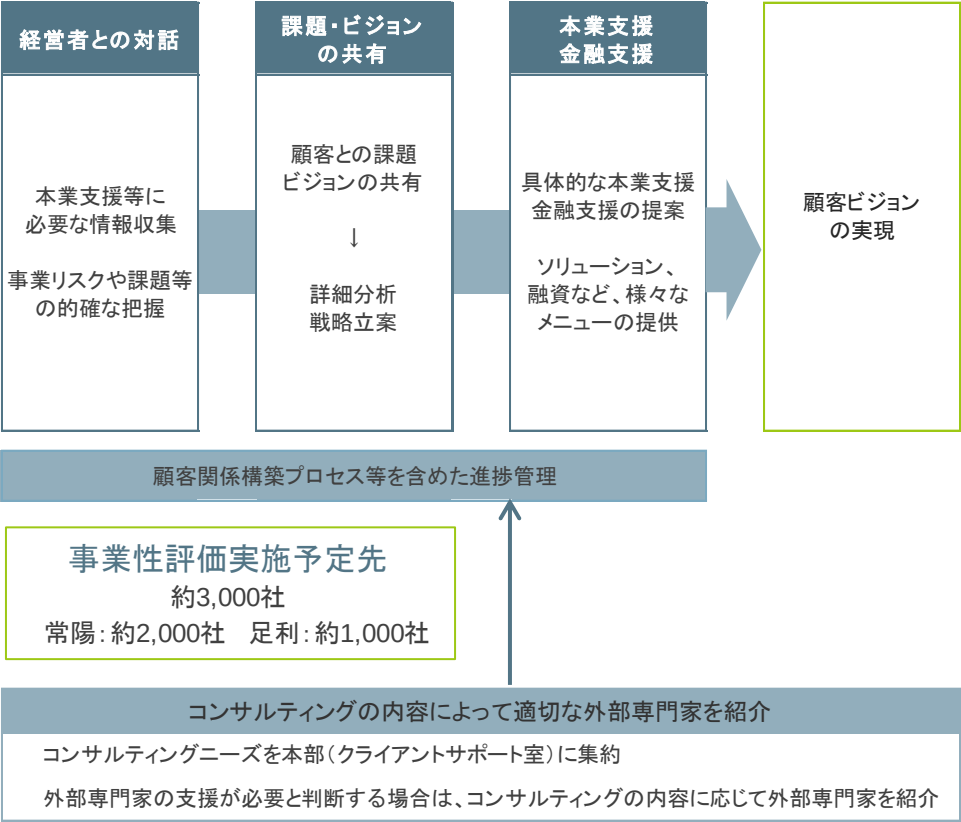
保有株式数	特産品の金額目安	アイテム数
1,000株以上 5,000株未満	2,500 円相当	茨城県・栃木県の特産品を中心に
5,000株以上 10,000株未満	4,000 円相当	488アイテム
10,000株以上	6,000 円相当	(各コースの合計)

*28年度常陽銀行株主優待実績 316アイテム口

営業施策 | 法人

事業性評価の取組み

担保・保証に過度に依存せず、事業の内容や成長可能性を適切に評価し、本業支援・金融支援を行う取組みを強化。



常陽銀行において、29年度12月より足利銀行と同じ仕組みをスタート。
30年度より、法人営業体制を見直し、セグメントに応じたビジネスモデルを構築。

広域ビジネスマッチング(統合後～H29.12月)

2行合算	
情報発信	7,466件
マッチング(顧客面談)	390件
成約	62件

連携・協調営業(統合後～H29.12月)

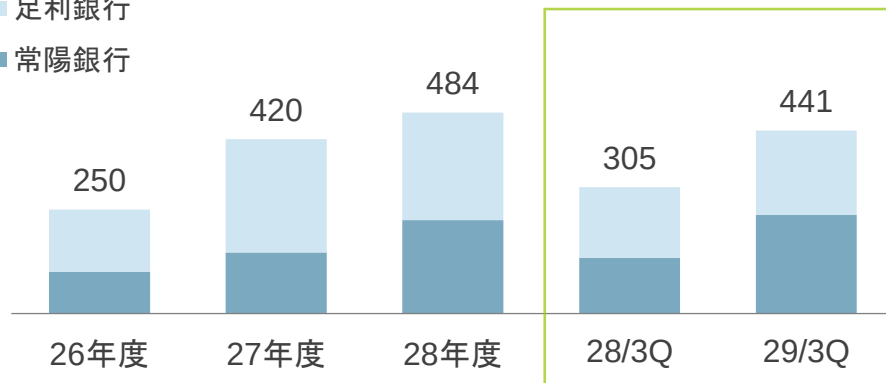
	先数	2行合算
協調融資	46	67億円
シ・ローン	45	80億円
紹介	120	73億円
合計	211	221億円

営業施策 | 法人

私募債発行

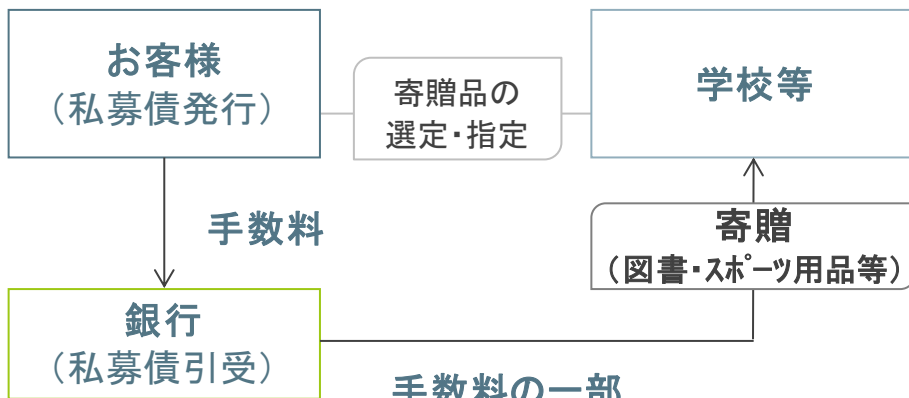
(億円)

■ 足利銀行
■ 常陽銀行



寄贈サービス付私募債 (29年12月末累積実績: 228億円/259件)

お客様とともに、学校環境の整備をつうじて、地域社会へ貢献



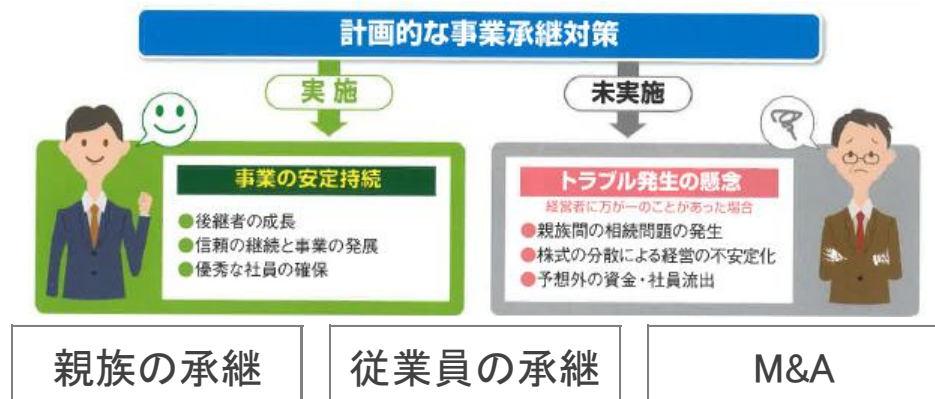
手数料の一部

28年7月の取扱い開始より、2行合算で総額4千万円を超える寄贈を実施

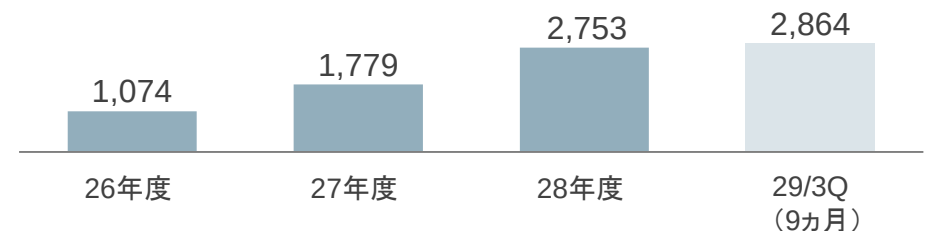
事業承継・M&A

後継者の有無などに応じて、事業承継の方向性を共に考えソリューションを提供

取引先の円滑な事業・資産承継、雇用維持をサポートすることにより、地域経済の持続的発展に貢献



事業承継・M&Aの提案先数(2行合算)



茨城県・栃木県内でM&A等を選択する見込みのある企業数: 約2万社
* 中小企業庁統計表一覧・帝国データバンク公表資料等により当社推定

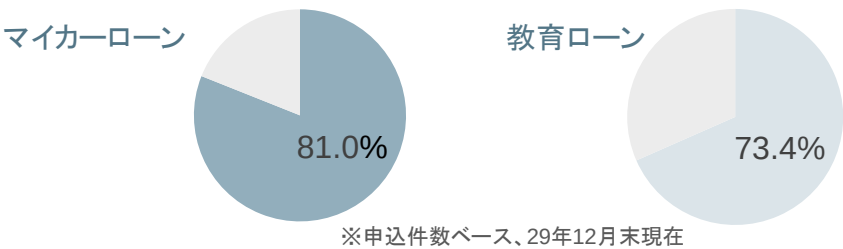
営業施策 | 個人

個人向けローン

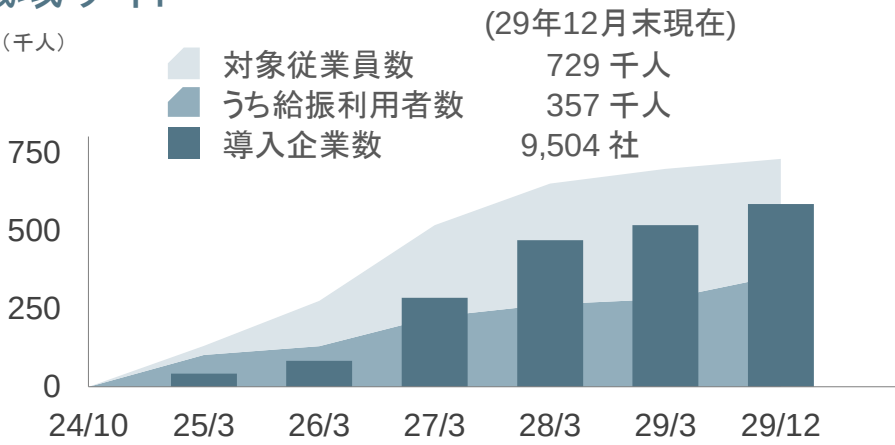
ウェブ申込の利便性向上、職域サイトのコンテンツ充実を図る。

常陽銀行ではダイレクト営業部を設立し対応を強化。

ウェブ経由の取引実績(2行合算)



職域サイト



預り資産

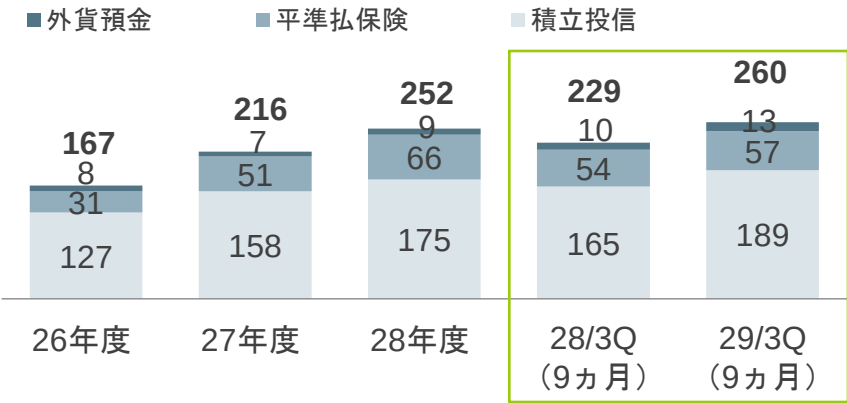
取引先数は増加し、裾野は拡大。積立額は増加トレンドを継続。

FDの観点で顧客資産形成をサポート。ストック・ビジネスを強化。

取引先数

	27/3末	28/3末	29/3末	29/12末	29/3比
常陽銀行	191	190	197	197	+0
足利銀行	148	149	156	158	+2
単純合算	340	340	353	356	+3

積立商品の積立額(2行合算)

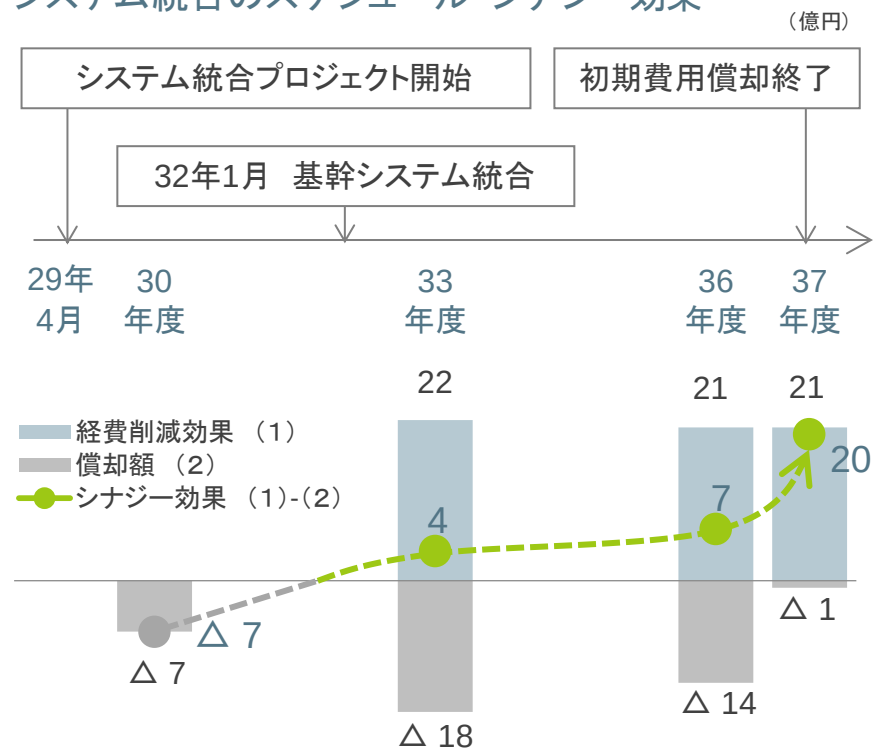


システム統合・経費削減

システム統合

足利銀行が、めぶきFGが加盟する「Chance共同化」へ参加
基幹システムの統合+約280の分散システムのうち170強の統合
捻出した経営資源を新システム等への投資にシフト

システム統合のスケジュール・シナジー効果



システム統合にかかる投資費用100億円程度

経費削減

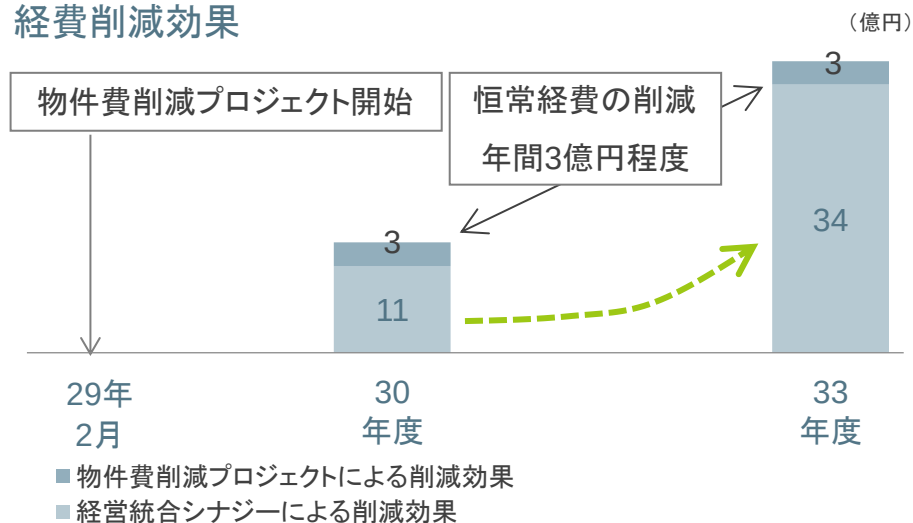
経営統合シナジー

- ☑ 経費削減ノウハウ、費用対効果評価の共有
- ☑ 店舗運営効率化のノウハウ共有
- ☑ 東京事務センターの統合、集中処理の拡大(手形交換・輸送等)
- ☑ 手形・小切手用紙等、発行事務の共同化(G企業への全面委託)
- ☑ システム経費削減シナジー

物件費削減プロジェクト (平成29年2月より)

経営統合シナジーの実効性を高めるべく両行の関係各々が参加
両行の支出内容の比較を行い恒常経費の削減を図る

経費削減効果

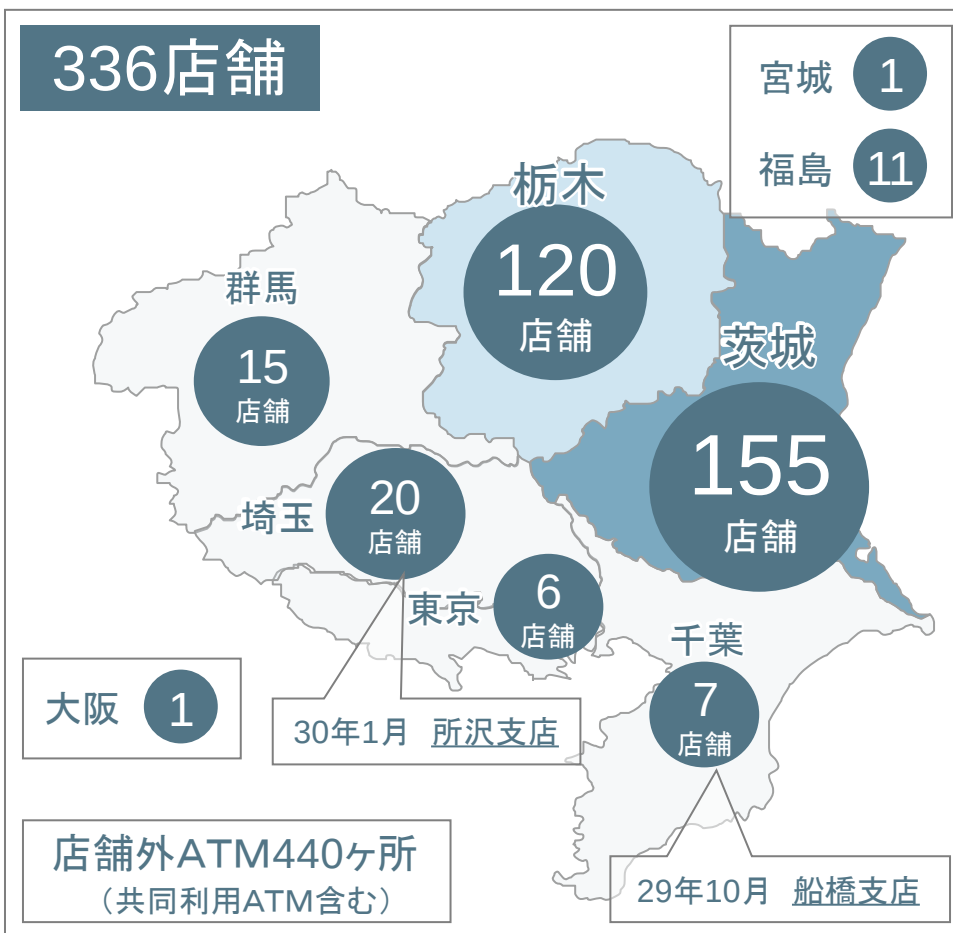


店舗ネットワーク

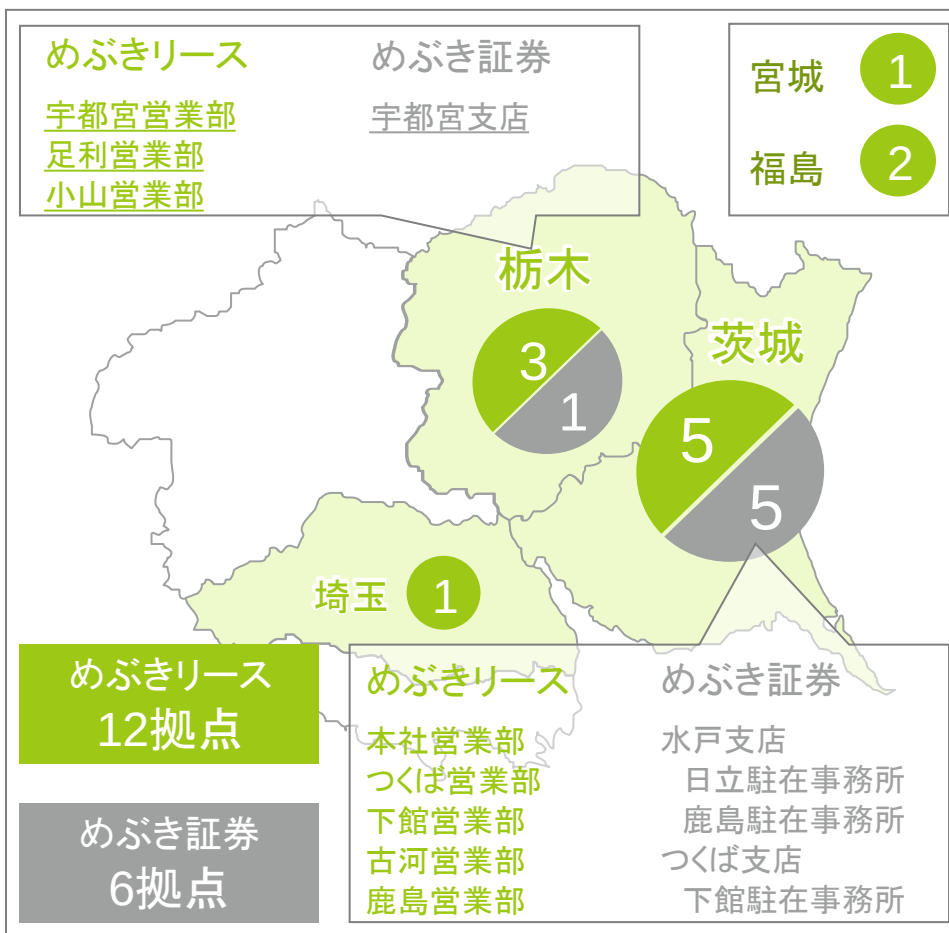
(30年1月末現在)

33年度までにグループ全体で15カ店の新規出店を計画。

銀行の支店数(2行計)



めぶきリース/めぶき証券



店舗効率化

(29年12月末現在)

店舗運営の効率化とお客様の利便性向上をはかる。

店舗効率化 (経営統合(28年10月)以降)

経営統合に伴う店舗統廃合(重複エリア見直し)

常陽 | 1支店、1出張所を統合(店舗内店舗化)

足利 | 古河地区の再編 1支店、3出張所、
1ローンセンターを古河支店に集約

経営統合以外の店舗統廃合

常陽 | 2支店、1出張所を統合(店舗内店舗化)

足利 | 1支店、1出張所、1ローンセンターを同一店舗に移転

ATM相互利用

常陽銀行・足利銀行のATMの相互利用
(手数料、ポイント優遇等の自行同一化)

利用しやすい店舗づくり お客さまの利便性向上

土日営業する店舗を活用

TV電話の活用

インターネット支店 など

その他の店舗運営効率化

店舗軽量化、個人特化店化

効率化出張所等の設置

一部の出張所で昼休業の導入

ATMの相互利用



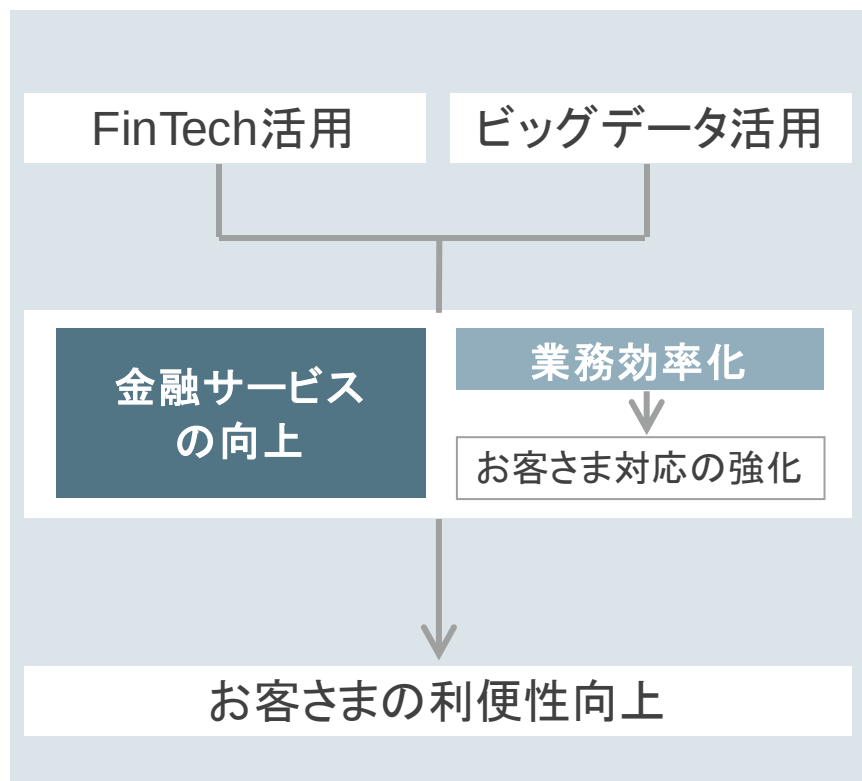
TV電話



土日営業店舗

ITを活用したお客さま利便性の向上

IT活用により、金融サービスの向上、お客さま対応の強化をはかる



業務効率化

店頭受付ナビゲーション
渉外活動BPR
本部事務効率化・RPA
本部集中・ペーパーレス

決済



スマートフォン小口決済

ご預金



口座開設アプリ

インターネット支店機能拡張



通帳アプリ

インターネットバンキング

お借入



マイカーローン申込ネット完結
住宅ローン借換ネット申し込み

資産管理



資産運用提案

ロボアドバイザー



家計管理アプリ

マネーツリー「一生通帳」

お客さま ニーズ の発掘



データ分析

マーケティング・商品提案・自動審査等



AIの活用

業務の効率化

オペレーションの革新により捻出した経営資源を、お客さまの満足向上に資する分野に投下



地域創生への取り組み（めぶきFGとしての取り組み）

地域経済活性化に向けた各種イベントを積極的に展開

農業・食品関連事業者支援



地域産品の開発から販売に至るプロセスにおいて、それぞれの分野に応じた施策を展開

「おいしさ向上品評会(28年10月)」

「おいしさつながるフードフェスタ(28年11月)」

「食品加工技術商談会
デコ・ボコ マッチング(29年9月)」

「食の商談会(30年1月)」

- ・240社(うち運送業者14社)がブースを出店
- ・事前予約の商談件数610展

ものづくり企業フォーラム(30年2月)



地元ものづくり企業の事業支援を目的とし、地銀最大級の規模で開催

・参加企業 約1,000社 ・参加者数 約2,200人

・予約商談件数 約480件

ものづくりのヒントとなる
デモンストレーションや、これまでの
ビジネスアワード受賞企業による
プレゼンを実施

第2回めぶきビジネスアワード(29年11月～)



両行の営業エリアに潜在する
革新的・創造的な事業プランを
募集・表彰

事業プランの作成・事業立ち上げに
至る一貫した支援を展開

「大学発イノベーション賞」を新設
(29年11月)

めぶき地域創生ファンド

組成額
40億円



両行および損保ジャパン日本興亜等
が出資する新事業創出支援ファンド

地域経済の発展に資する事業を行う
中小・中堅企業に出資・経営支援

実績 | 1月末日現在

投資額15.5億円／合計7件

本件に関する問い合わせ先

株式会社めぶきフィナンシャルグループ経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <http://www.mebuki-fg.co.jp/>

ご注意

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより 実際の数値と異なる可能性があります。